予算決算審査委員会報告書

令和7年3月12日

備前市議会議長　西上　徳一　殿

委員長　山　本　　成

令和7年3月12日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案　　件	審査結果	少数意見
議案第2号　令和7年度備前市一般会計予算（産業）	継続審査	―
議案第17号　令和6年度備前市一般会計補正予算（第11号）（産業）	継続審査	―

予算決算審査委員会記録

招集日時	令和7年3月12日（水）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午後3時08分	閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出席委員	委員長	山本　成	副委員長	奥道光人
	委員	尾川直行		守井秀龍
		立川　茂		石原和人
		森本洋子		青山孝樹
		藪内　靖		松本　仁
		内田敏憲		丸山昭則
		草加忠弘		
欠席委員		中西裕康	土器　豊	
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	西上徳一		
説明員	産業建設部長 兼上下水道課長 兼通信制高校整備推進室長	河井健治	産業振興課長	坂本　寛
	都市計画課長	井上哲夫	建設課長	藤森勝一
	土地住宅政策課長	岡村　悟	空家対策課長	江見清人
	文化スポーツ部長	森　優	文化スポーツ振興課長 兼地域移行課長	杉山麻里
	生涯学習課長	川淵裕之	図書館活動課長	高橋清隆
	総合支所部長	馬場敬士	三石総合支所長	瀬尾茂樹
	日生総合支所長	横山修一	吉永総合支所長	新庄英明
	市長公室参与	梶藤　勲		
傍聴者	報道関係	あり		
	一般傍聴	あり		
審査記録	次のとおり			

午前９時３０分　開会

○山本委員長　皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は１３名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

本日は、産業建設部、文化スポーツ部、総合支所部関係の審査としております。

総合支所部が入られるのは本日が最後となります。質疑漏れのないよう御注意ください。

また、本日も、議案第２号令和７年度備前市一般会計予算、議案第１７号令和６年度備前市一般会計補正予算（第１１号）の２議案の審査を行いますことから、議事の運営に格別の御協力をいただきますようよろしくお願いします。

なお、いずれも補正予算の審査を先に行います。

なお、議案第２号については、所管の記載がされた予算書を事務局に配付させております。審査漏れがないよう、１ページから２０ページなど、ページを区切って審査しましてまいります。区切った範囲内に審査中の所管の予算が存在しない場合も多々あるとは存じますが、審査漏れを防ぐためですので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

また、本日も席次表を配付させておりますので、現在審査中の部、課については、座席表を参考にしてください。

それでは、議事に入ります。

********** 議案第17号の審査（産業） **********

まず、議案第１７号中、産業建設部、文化スポーツ部関係の審査を行います。

まず、歳入から行います。

補正予算書は１６ページ、所管別分類表は５ページをお開きください。

歳入は一括で審査をお願いいたします。

質疑がある方の発言を許可します。

○守井委員　１６、１７ページの２款地方譲与税、森林環境譲与税、森林環境譲与税３１２万２，０００円の増額、実績という形で上がっておるけど、林業の従業員数とか森林面積とか、人口とかあるけど、そんなに数値が変わるとは思えない、何がどのように増えたんでしょうか。

○坂本産業振興課長　森林環境譲与税につきましては、令和６年度から、先ほど守井委員が言われましたように、森林面積、それから人口割、こういったところが改定になっております。それから、譲与金の総額につきましても、全国での総額が変わってまして、そこから算定をし直した結果、このように、備前市の場合でしたら、３１２万２，０００円が増額となっております。

主な内容としては、森林面積が５０％から５５％、人口割のところが３０％から２５％にという、ここが大きく影響しておりまして、備前市の場合は森林面積が増加したというところが影響しているというふうに、私のほうでは推測をしております。あと、令和７年度につきましても、増額の予定と見込んでおります。

○守井委員　３３ページの雑入、教育費、雑入の３８節ネーミングライツ収入が増加しておるが、体育館とか書いてるけど、チオビタかなと思うけど、何でしょうか。

○森文化スポーツ部長　これにつきましては、委員お見込みのとおり、チオビタ運動公園の分でございます。

○守井委員　説明書に体育館と書いてあるけど、あれは何ですか。体育館も含めた久々井の運動公園という意味ですか。

○森文化スポーツ部長　委員お見込みのとおり、久々井にあります市民総合運動公園全体というところでございます。

○山本委員長　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、歳出に移ります。

補正予算書は、３６ページから５７ページの土木費までを審査対象といたします。

○守井委員　３９ページの諸費、寄附金の節がありまして、チャリティー事業２０万円、収益金を福祉団体に寄附したと、この福祉団体はどういう団体に寄附されたのか、分かれば教えて。

○川淵生涯学習課長　３９ページのチャリティー事業の件ですけれども、備前市合併２０周年記念イベントとしまして、先日、令和７年３月９日の日曜日に、備前市市民センターホールにおきまして、備前音楽サークル様によるチャリティ・ロック・フェスティバルと題しまして、記念イベントを行っていただいております。こちらにつきましては、事業自体は企画課で担当していただいて、合併２０周年記念イベントということで開催していただきましたが、予算としましては、生涯学習課のほうで担当させていただきまして、このチャリティーイベント、入場料のほうをお一人５００円いただくようにしておりまして、こちらの入場料全額を社会福祉協議会へ寄附をするという、寄附金の歳出部分を今回予算計上させていただいております。

○石原委員　５０、５１ページからの農林水産業費、実績見込みによる補正でしょうけれども、農業費、林業費、水産業費、それぞれ減額等々の理由、状況等を御説明いただければ。

○坂本産業振興課長　項目が、数が結構ありますので、ちょっと分けて御説明させていただけたらと思います。

まず、農業振興費のところから参ります。

多面的機能の支払交付金事業負担金、こういった補助金等をいただくような事業が多く、農林水産業費にはございます。今のものにつきましては、やっていただいております団体の実績を基に補助をしているというものでして、負担をしているものということになっておりまして、そこが大きな要因になります。あと、この多面的機能というものを実施しておりました団体が、その地域の諸事情等で取りやめるというようなケースもございます。それから、環境保全型農業の直接支援の対策交付金というものにつきましても、いわゆる有機農業というような取組をやっておられる団体への交付金になりますが、いろいろと活動をやっておられましたけれども、終了され

たというグループもございます。

それから、林業費のほうに参りますと、ナラ枯れの被害拡大防止総合対策事業ということで、県が実施する事業量を見直しをしたというものになります。なぜ見直しをしたのかというところですけれども、ナラ枯れというのが、一旦枯れていると思っていた木も、次の春にはまた芽が出てきたという木もあったりするようです。そういったことから、事業量が変更になったというものになります。あと緑化の苗木のものにつきましては、緑の募金事業というものが、多くお金が集まったということで、金額を増額していただいております。

それから、次が水産業費になりますが、こちら海ごみの対策事業につきまして、今年度につきまして、台風等が少なかったというようなことから、回収するごみの量も少なかったということと、場所についても、昨年度などと比較しますと、少なかったのかなというようなことでございます。

私のほうからは以上ですが、また何かありましたら、御質問いただけたらと思います。

○藤森建設課長　建設課からは、農地費と林業振興費について御説明させていただきます。

農地費のまず委託料でございますが、この測量調査設計等委託料は、後ほど、工事請負費にも上がってくるんですけども、小規模土地改良事業の委託料でございます。この入札残と地元等の調整等による実施に至らなかった業務未執行の残額を上げさせていただいております。

続きまして、農村地域防災減災事業委託料でございますが、これにつきましては、ため池ハザードマップに係る入札残でございます。

続きまして、工事請負費、ため池改修工事でございますが、当初、ロノ新池という穂浪の池のサイホン設置工事を実施する計画でございましたが、地元等の調整協議等の結果、簡易サイホンとして備品購入で賄わさせていただきましたので、その分工事請負費を減額させていただいております。

小規模土地改良事業の工事につきましては、先ほど述べましたとおりでございます。

あと中山間地域総合整備事業負担金でございますが、県のほうに事業をお願いしてやっておる事業の負担金でございまして、当初、計画していた予定よりも工事ができなかった部分があると。それによる減額ということになっております。

続きまして、林業振興費の工事請負費でございますが、これについては、執行見込みの分の残でございます。

○石原委員　水産業費の里海里山ブランド推進事業補助金、かなり多くの減額と思うけど。

○坂本産業振興課長　ブランド推進協議会２００万円の減ですが、もともと見込んでおりました事業を見直しを行いまして、今回は実施しなかったというものでございます。

○石原委員　こちらの推進事業では、見直しもなされたようですけれども、令和６年度、主にはどのような事業を行われたんでしょうか。

○坂本産業振興課長　ブランドの商品部会というようなところでの事業でありますとか、里海里

山でのそれぞれの事業は実施しております。今回見直しを行ったものについては、県の補助等を見込んでいたんですけれども、そういったこともありまして、今回は減額というところでございます。

○石原委員　農村地域防災減災事業委託料、当初では１億１，６１５万円の予算計上で、入札残ですけど、こちらのハザードマップですか。委託はどちらの業者に委託をされているんでしょうか。

○藤森建設課長　これにつきましては、岡山県土地改良事業団体連合会に行っております。

○石原委員　農村地域に係るハザードマップがしっかりと作成されて、今後市民の皆さんに、地域の皆さんに、ハザードマップを公表、周知についてはいかがでしょう。

○藤森建設課長　ハザードマップを、今年も９マップほど作らさせていただいております。現在、地元の方の意見をお聞きしながら、避難場所、避難経路等を調整しながら実施させていただいております。その後につきましては、地元の区長とかに相談しながら、掲示できる場所とか、あと掲示方法とかを確認しながら、なおかつホームページ等でも皆さんに周知等を図っていく予定でございます。

○石原委員　各地区で調整もなされてということですが、一応めどで言えばいつ頃出来上がって、いつから公表の流れで見込んでおられるんでしょうか。

○藤森建設課長　今、防災重点ため池ということで、決壊すると住宅、住民の方々に膨大な被害を及ぼすような池ということで、そのため池ハザードマップを計画しておりますが、来年度、令和７年度をもって完了という見込みでございます。

○石原委員　ハザードマップ作成に係る委託業務、入札残で２５万円減額、この委託業務の入札は、いつ行われたか。

○藤森建設課長　ため池ハザードマップの入札でございますが、１１月６日に行っております。

○守井委員　５５ページの土木費の河川費の河川総務費、急傾斜地の崩壊対策事業県工事負担金減額になっております。何か所ぐらいやられて、これは余ったのは請負残と思うけど、そのあたりはいかがでしょうか。

○藤森建設課長　急傾斜地防災対策事業でございますが、これは県が行っていただいておる事業でございます。急傾斜地につきましては、主に三石の五石地区ということでお聞きしております。崩壊土砂防護柵工を行っているということでございます。

○守井委員　減額になった理由を教えていただきたい。

○藤森建設課長　計画したほど工事が進まなかったということで、減額ということでお聞きしています。

○石原委員　５４、５５ページの土木費、道路橋梁費の中の橋梁維持費委託料、大きな減額となっておりますけれども、こちらについてお聞かせいただければ。

○藤森建設課長　橋梁点検業務委託料でございますが、市内に点在する橋梁の点検業務委託料で

ございまして、５年に１回行っているという状況でございます。

入札残及び業務未執行による残額でございまして、国費が減額となったということによりまして、実施できなかったということでございます。次年度以降、国費の充当額を考慮しながら、順次実施していくという予定でございます。

○石原委員　７年度の当初予算にも出てきますけれども、６年度は、幾つの橋の点検がなされたんでしょう。

○藤森建設課長　６年度は、点検が１５３を予定しております。

○山本委員長　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育費５８ページから、最後の６３ページまでを審査いたします。

○青山委員　５９ページ、社会教育費の委託料、行事企画運営委託料１５６万円減額はどのようなことで。

○川淵生涯学習課長　こちらの行事企画委託料につきましては、当初、備前市と東京芸大との連携プロジェクトということで予算計上させていただいておりました。ただ、先方等、関係者と協議をして調整がつかなかったということで、今回、事業を見送って減額させていただいたものでございます。

○青山委員　これは今後進められるんでしょうか。もうこれで打切りでしょうか。

○川淵生涯学習課長　令和６年度では、当初予算計上させていただいておりました。来年度、令和７年度では、予算計上はしておりませんけれども、幾らか、芸大さんと何かしら連携が取れるような事業を、今後検討してまいりたいと考えております。

○青山委員　もしよければ、令和６年度でどういう計画だったか、ちょっと教えてください。

○川淵生涯学習課長　東京芸大の音楽の関係の学生さんと市内の中学生でありますとか、そういった吹奏楽部さんとコラボして演奏会の予定を考えておりましたけれども、今回は実施には至らなかったということでございます。

○石原委員　６０、６１ページ、文化財保護費の工事請負費の用地造成工事の減額について御説明いただければ。

○川淵生涯学習課長　こちらの工事請負費、用地造成工事の減額分につきましては、今年度、６月の補正予算で、南大窯跡地の北側用地を、埋立の造成工事を行う予定で予算計上させていただいておりました。今年度、いろいろと工事の手法等々、事業費を抑えられないかというところで検討をしておりました。今回、工法等も検討をいたしまして、南大窯用地の造成に使用する土砂を、建設課が保有する建設発生土に変更することによって経費の削減をすることにしておりまして、ストックしている建設発生土のうち、用地造成分を確保するために、まずは運搬業務のみを、今年度先行して発注を行っております。こちらの入札も終わり、今現在、土砂運搬を行っているところではございます。今回、補正予算で、減額分につきましては、来年度、この後、繰越

しさせていただいております工事費を残した残額を、繰越分を１，３００万円、工事費として繰越しさせていただいて、その残りを減額とさせていただいております。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、第２表継続費補正に入ります。

補正予算書は６ページ、所管別分類表は１ページをお開きください。

新図書館整備事業が範囲です。

質疑がある方の発言を許可します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、第３表繰越明許費補正に入ります。

補正予算書は７ページ、所管別分類表は１ページをお開きください。

○石原委員　土木費の住宅費が２件、繰越明許費補正ということで、それぞれ状況等をお聞かせいただければ。

○岡村土地住宅政策課長　住宅費のうち、浦伊部地区移住体験住宅整備事業５００万円について説明させていただきます。

これにつきましては、浦伊部地内にあります不動産物件をお試し住宅として整備するため、令和６年９月補正にて予算の御承認をいただいております。

用地取得につきましては、昨年１２月で所有者の移転登記が完了しております。リフォーム工事につきましては、年度内完了を目指し準備を進めておりましたが、県の補助金で、空き家活用お試し住宅整備事業というメニューがあることを知りまして、県と相談した結果、本整備も対象となるということで、令和７年度の補助金を活用して市費の負担軽減を図りながら事業を実施したいということで、繰越措置とさせていただいております。

続きまして、大内市営住宅の改修事業につきましては、全体の管理棟数の集約化を進めて、施設の維持管理の効率を図っていきたいということで、東側の空き室のリフォーム工事を行い、西側に居住されてます方を引っ越しをお願いしていくというものです。現在、継続して入居者様との移転協議を行っており、その時間を要したことから、繰越措置とさせていただいておりますが、中には、幾らか移転の合意が得られそうということで、それにつきましては、空き室のリフォーム工事の発注準備を今現在進めているところでございます。

○青山委員　７番の保健体育費、トレーニングジム、繰り越されてるけど、どのようなものが入るんか、もう一回教えてもらえますか。

○森文化スポーツ部長　これにつきましては、トレーニングマシンを数台考えております。

マシンの種類でありますとか、大きさであるとか、機能も含めて今検討しているところでありまして、その分に、その検討に不測の日数を要して、今回、繰越しをさせていただいております。

○青山委員　これ３階部分に入ると思うけど、高齢者か若者か、どのような対象になりますか。

○森文化スポーツ部長　今考えているのは高齢者から若い子というか、若年の方まで使えるような器具を入れたらいいなとは考えております。スペースが割とありますので、そのあたりも考えていきたいと思っております。

○青山委員　特に高齢者の人については、使用の方法等の指導とか、安全面のことが第一になると思うけど、若者が使うというたら、ちょっと物足らないというようなことになるけど、その仕分、何台は若者用を考えて、何台は高齢者用とか、そんなような計画がありますか。

○森文化スポーツ部長　委員おっしゃるとおり、何台がいいのかというところから考えているところでございます。

○青山委員　先ほど言いましたように、それぞれの体力とか思考によって違うと思うんで、その辺よく考慮して、使い勝手のいい安全なものをお願いしたいと思います。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に、全体で質疑漏れはありませんか。

○尾川委員　図書館の整備で、地中の埋設物等の撤去作業が追加になったということで、一般質問で同僚議員と担当者とのやり取り見たら、どうせ掘らにゃいけんから、ボーリング調査は必要ねえというくらいの表現に聞こえたけど、そのあたりの認識は、考え方として、この市庁舎のときでもめて、もっとボーリング調査の本数を増やすべきじゃなかったんかと。結局、工期が遅れるということになったときに、その辺の兼ね合いというのが、担当者とすりゃ、これが今ベストだったと。私は市長にも言うたけど、美術館にしても遅れる、不測の日数を要したためということで、全部そういう表現になっとんだけど、担当者だって、もっと確実な仕事したほうがええんじゃねえかなと。この辺の考え方は、繰越明許とか、不測とか、もうずっと並び立てていきよることについて、ちょっと全体的な話なんで、特に図書館について絞って説明してもらえたら。

○梶藤市長公室参与　図書館建設に関しましては、遅れ等が生じまして御迷惑おかけしております。

まず、ボーリングのお話でございますが、ボーリングにつきましては、ボーリングの目的というものがございます。まず、建築におきましては、支持層の確認というのが一番の目的でボーリングをさせていただいております。今回の場合、２か所ボーリングをさせていただいております。その箇所数については問題がないと判断しております。その中で、じゃあ瓦礫がどこまで分かるかということにつきましては、ボーリングをもう一本増やしたからといって、じゃあ瓦礫層がどこまであるかとかというのはなかなか判断しづらいというのが一つありましての一般質問での答弁になっておるということでございます。

あと、答弁の中でも、市長の中でもあったかもしれませんが、地中の障害物につきまして、あらかじめ取っておくというようなやり方も一つあると思いますが、その場合におきましては、例

えば全体面積の中の全体面積を取ってしまうというような形にもなりかねないと。そうなりましたら、じゃあ必要な場所だけ取る場合と比べまして、やっぱり工事費についてトータルで考えたら高くなるという考えもございまして、実際工事を発注する場合におきましては、通常、備前市におきましては、建築工事と一体として発注して取り壊しも行うというような状況でさせていただいております。

今回におきましては、ある程度、地中については、障害物というものはそんなにあるという想定ができなかったことにつきまして、こういう事態となっておるのが現状でございます。

建築工事一般としましては、極力、工程を詰めた上での工事発注ということで工事を発注させていただいております。といいますのが、建築におきましては、工程というのが工事費にもかなり影響してまいります。そういう絡みもありまして、担当者としましては、ある程度の、そういう工程計算をして発注しておるというのが実態でございますのでますので、そういうある程度違う、予見できない事象が起きた場合におきましては、工期がどうしてもずれてしまうということで、こういう繰越しというようなことが生じる可能性が出てくるということを御理解いただければと思います。

○尾川委員　あそこら埋立地と思う。アルファビゼンがどのくらいの深さまでボーリングというか、基礎をしとるかということの算定に使う。産業廃棄物とか、工場の跡でというのは分かり切っとるはずじゃから。深さの問題、基礎をどういうふうに、専門家じゃねえんで分からんけど、要するに岩盤まで届くだけのボーリングはどのくらいの距離かを測定すると思う。本数増やしゃ金要るし。大体アルファビゼンでどのくらい、何十メートル打ち込んだというのを聞いとるから、こっちじゃったらどのくらいか想定するけど。瓦礫が出る出んというのは、当然、工場の跡じゃから基礎は絶対あって、れんが工場じゃから、どういう機械か、あったかは想像つく、設備があったかという。そしたら、どれだけの基礎しとるか、昔のこっちゃから、そんな下のほうまでやっとらんと思うけど。どういうボーリングの調査、瓦礫の調査とかというんじゃねえというふうに私ら思うけど、その辺は、素人に教えるつもりで、どういうふうに考えとんかと思うて。

○梶藤市長公室参与　繰り返しになるかもしれませんが、基本的に建築の場合、ボーリングというのは、支持層の確認が一番の肝になると考えております。瓦礫層というのも、ある程度想定できたんじゃないかというお話もありましたけど、そこまでの想定ができずに工事発注しているというのが実態でありまして、あと問題は、古い工場跡地ということでしたけど、結構下の層まで瓦礫がありました。それは、瓦礫が出たのを確認した後も、ここまであるんだみたいな形で現場と、というのを話をしてましたんで、なかなか更地の状態での想定というのは難しい部分が、地中については、もともと操業してた方がおられればかなり分かると思うんですけど、そういうことも情報としても持っておりませんでしたので、想定ができなかったということで御理解いただければと思います。

○尾川委員　全体的にいろいろな説明で、遅れた遅れたという、それはやむを得んいろいろ事情

があると思うけど、担当者がでえれえ苦労しとる割には物事が進んでいかんという、仕事ばあ抱えるような結果になっとんじゃねえかなと。その辺についての解消は、少しはこういうことが続くんじゃろうかなと思うけど、部長の考えをお聞きしたい。

○梶藤市長公室参与　おっしゃられるように、土木工事、建築工事、結構遅れることが多いというのは、その認識の上で、尾川委員のほうもお話しいただいていると思います。一番は、なかなか準備に対して時間が取れてないという部分が一番大きいかなと思います。どうしても予算というのが、基本的には単年度でつく予算なので、予算がついてからある程度の準備が進むというような形があったり、担当が替わったりとかという部分もあったり、業務が集中してる部署でありましたら、なかなか追いついてないという部分もありますので、市全体としましたら、そういう期間が十分取れるような体制での事業着手というのを今後やっていくことで、御懸念の職員の対応が遅れることとかによる工期の遅れというのは防げていくのかなと思います。基本的には、不可抗力による遅れがほとんどなので、そういうことにつきましては、なかなか職員での対応は難しいですが、職員側でできる対応については、市全体として考えていく必要があるかなとは思います。

○尾川委員　理想の仕事は、なかなかうまいこといかん、臨機に対応せないけんのはよう分かる、現場的には。だけど、本当計画があって、市民に説得できるだけの条件があるんかなと。ええことじゃと思うんです。新しい視点でいろんなことをするのはよう分かるけど、本当に担当者がきちっと。本当に何がしてえんかなというのがよう分からんようなところがあって、中途半端な質問じゃけど、何か少し考えたほうが、結局、効果がねえというか、みんなえれえめしとる割にゃあ効果がねえと。

それともう一つは、国の補助金が出てくるのを待つと。段取りしとんじゃからええけど、じゃあもうちょっとゆっくりしよったほうが、もう出てくるでというのを読んで、そういう担当者がおって、準備もすりゃええけど、それを急いで早うせえ早うせえというてやっとって、何かいらいらする割にゃあ効果がねえという感じがあって、問題提起として指摘させてもらいます。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議案第１７号中、産業建設部、文化スポーツ部関係の審査を終わります。

説明員を追加しますので、暫時休憩いたします。

午前１０時２１分　休憩

午前１０時３５分　再開

○山本委員長　休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

********** 議案第2号の審査（産業） **********

次に、議案第２号中、産業建設部、文化スポーツ部、総合支所部関係の審査を行います。

本日も、所管が記載された予算書を基に進行してまいりますので御準備ください。

まず、歳入から行います。

審査の範囲は、１４ページから２９ページまでとします。２９ページの使用料及び手数料までといたします。

○守井委員　２７ページ、教育使用料の社会教育使用料、６節公民館等使用料が、令和６年度が５２６万円から４３５万円ですが、休館か何かしたのか、減額の理由。

○川淵生涯学習課長　減額の理由につきましては、実際には、閉館したところはございません。実績に基づいて、使用料を計上させていただいております。

○尾川委員　１９ページの森林環境譲与税２，３００万円ほど、これについて、考え方を教えて。

○坂本産業振興課長　補正予算のほうでも少し触れたんですけれども、令和６年度以降、森林環境譲与税の配分の率が変わったことが大きな要因でございます。

令和７年度につきましても、令和６年度と比較しまして、微増という格好になっております。こちらについては、やはり市有林の人口面積というところが、備前市の場合は大きく影響しているかなというふうに判断しております。

○山本委員長　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、２８ページの国庫支出金から、歳入、最後の５９ページまでお願いします。審査対象といたします。

○森本委員　３２、３３ページの土木費国庫補助金の５節港湾建設費補助金、鴻島港と思うけど、どのような内容でされるのか教えてください。

○藤森建設課長　今、鴻島港の港湾施設の改良を計画しております。

今年度までは、概略設計を上げさせていただいていまして、令和７年度は実施設計を上げているということでございます。

○森本委員　具体的にはどういうところでしょうか。

○藤森建設課長　今回上げさせていただいているのは、鴻島港における港湾施設の改良に伴う細部実施設計の業務でございます。

業務内容につきましては、各施設の断面決定と事業概要の工事費、外周施設の施工計画等の予定をしております。

○守井委員　４４ページ、土木費県補助金、都市計画総務費補助金、空家等除却支援事業費補助金８３万円、昨年も８３万円で、空き家の除却は数がかなり増えているという感じで、皆さんの要望も大きいと思う。補助率５０％ぐらいと思うけど、空き家住宅への補助金の状況を教えて。

○江見空家対策課長　この県補助につきましては、事業費は歳出で５００万円でございますが、事業費に対しまして６分の１の補助になっております。国の補助は２分の１で２５０万円を計上

させていただいております。

空き家の状況でございますが、確かに委員おっしゃられますように、相談件数等は増えておりまして、除却に対する補助金につきましては、来年度予算につきましては、歳出のほうも、今年度と同額にはしておりますけれども、先の話にはなりますけれども、ひょっとしたら補正対応をお願いをしないといけないというふうになるかもしれないと。相談自体の件数というのは増えているというふうに実感をしております。

○尾川委員　３３ページの土木費国庫補助金、都市計画総務費補助金、この辺の社会資本整備総合交付金と都市構造再編集中支援事業費補助金が５．５億円、これ図書館関係と思うけど、この辺について説明して。

○高橋図書館活動課長　私からは、都市構造再編集中支援事業費補助金について説明をさせていただきます。

国土交通省の補助になります。これは、事業費、歳出のほうになるんですが、工事請負費１０億９，８６６万６，０００円と工事施工監理委託料の２，５８０万円を足して、補助率が５０％になりますので、その金額が５億５，９６２万３，０００円となっております。

○尾川委員　補助金いただけるというのは、どんな予定になっとんですか。これで終わりかな。

○高橋図書館活動課長　これで終わりではなくて、６年度から１０年度までに、片上地区で建てている都市再生整備計画に基づく補助金になりますので、毎年何らかの額は上がっていくものと思います。

○井上都市計画課長　都市計画課のほうから、社会資本整備総合交付金２９１万円の中身について御説明させていただきます。

こちらの社会資本整備総合交付金の内訳の事業といたしましては、木造住宅耐震診断事業の補助金といたしまして６０万円、木造住宅耐震改修事業に係る補助金として１７２万５，０００円、緊急輸送道路沿線建築物の診断計画補助事業といたしまして３３万５，０００円、アスベスト分析調査業務の補助金といたしまして２５万円、合計２９１万円の社会資本整備交付金の内訳となります。

○尾川委員　これは新たな事業じゃなしに、継続的に行われとる事業と理解したらええですか。

○井上都市計画課長　委員お見込みのとおり、継続事業となります。

○石原委員　先ほど、尾川委員が取り上げられた都市構造再編集中支援事業費補助金、以前お示しいただいた、さっき言われた片上地区の５か年の、ローソンの南の駐車場か公園か、そういった整備も盛り込まれていたかなり大きなプロジェクトに係る補助金でしょうけれども、令和７年度についてはこの金額ですけれども、８年度以降も事業に対する半額の補助金交付が確約されとるという捉えでよろしいでしょうか。

○高橋図書館活動課長　５か年の計画自体は採択をされていて、１年ごとに内示が来るという形になります。国の予算の都合もありましょうが、当然、直接要望もいたしますし、それから年度

の途中で補正予算が組まれて、それで追加の部分をいただけるとか、ほぼ５０％、今年の場合もいただけてますし、そのように、確約というんじゃなしに、計画は採択されているんで、あとはどれだけが補助としてついてくるか、５０％を目指すという形で、今年については５０％いただけてます。

○石原委員　不確定な部分もあるのかなと。

その上の住宅市街地総合整備事業補助金２５０万円についてお聞かせいただければ。

○江見空家対策課長　これにつきましては、空き家の除却に対する補助金でございまして、事業費５００万円に対しまして２分の１の補助がつくというものでございます。

○石原委員　この補助金は、旧アルファビゼンの改修にも充てられたんかな。何か見た記憶がありますが、さっき岡村課長、第１１号補正予算のところで言われた、国からか県からか、空き家に関する補助金、おっしゃったかなという記憶ですけど。

○岡村土地住宅政策課長　４１ページの６節住宅管理費補助金の中の２段目の移住・定住促進応援事業補助金１５０万円が先ほど補正で、７年度で県の補助を活用するものになります。

○森本委員　４１ページの３節農地費補助金、農村地域防災減災事業補助金で、さっきの補正にもあったけど、ハザードマップがこれで１８地域、８マップ完成ということでよろしかったでしょうか。

○藤森建設課長　現在のところ、ため池ハザードマップ作成、１８地域、８マップで完成の予定でございます。

○森本委員　歳出にも関係するが、ため池廃止事業は、令和７年度はどこの地域が計画されてるのか。

○藤森建設課長　ため池廃止事業の令和７年度でございますが、継続的に、備前地区、吉永地区、三石舟坂地区、それと新たに、伊部と片上の間の片上口上池地区を計画しております。

○森本委員　具体的に分かったら、一覧でいいので後でいただきたいと思うけど、いかがでしょうか、委員長。

○藤森建設課長　後ほど提出させていただきます。

○青山委員　４１ページの県補助金の２節農業振興費の補助金、農業次世代人材投資事業補助金が、昨年は４５０万円だったものが１８０万円とかなり減額になっているけど、減額理由を。

○坂本産業振興課長　対象となる方が減っているというところが理由になってまいります。

○青山委員　その下の新規就農者の育成総合対策補助金で、こちらのほうも昨年が５２５万円、１５０万円と減額になってますけど。

○坂本産業振興課長　こちらにつきましても、対象となる方が５名、昨年度はいらっしゃいましたけれども、令和７年度では１名というところでございます。

○青山委員　これはもう募集が終了しとるということですか。

○坂本産業振興課長　募集がといいますか、対象となる方が４９歳以下の方という縛りもあった

り、あといろんな申請等いただいてというのもございます。今回につきましては、この方、３年間、令和６年から８年という間の方でございます。

○青山委員　新規の見込みはないと考えたらいいですか。

○坂本産業振興課長　現時点では、この方以外はいないという状況でございます。

○青山委員　先ほどの次世代の人材、あるいは新規の就農者ということで、今、農家も高齢化、あるいは後継者不足ということで、耕作放棄地も増えてきている現状ですけど、これに対して何か対策は考えられていますか。

○坂本産業振興課長　市として何かというのはなかなか難しい面がございます。とはいえ、この農林水産の関係につきましては、国及び県の補助が割と手厚いものがございます。そういった補助などを活用していただいて、新規就農していただけたらというふうには考えておりますが、なかなか対象になる方が出てこないというのも実情でございます。今後も、そのあたりは、いろんな方法を考えていきたいと思います。

○青山委員　なかなか周知するのも難しいかもしれんけど、ぜひ、周知の方法を考えていただいて、農地が荒れ放題で後が使えないとかということにならないようにお願いしたいと思います。

○坂本産業振興課長　今、お米の価格とかも上がっているという状況がございます。とはいえ、なかなかもうかる農業というのができていないのが、新規就農に二の足を踏んでいるという状況なのかなというふうにも推測しております。そういった中で、今回の方も、ブドウの栽培という方でございまして、そういった収益性の高い農作物での新規就農ということが、今はやっていただいている状況でございますので、今後も、そういったところをターゲットにするのかなという点と、あともう少し大規模にやれるやり方、小さい土地で、農地で稲作をするというのは、なかなか収益性が上がりません。そういったところも、今、農地の集約化、集積化というものも図っているところでございますが、何分備前市は、そういった土地が少なくなっております。そういうところもいろいろ加味しながらという状況ですので、そこは御理解いただけたらと思います。

○青山委員　その下に、有害獣の捕獲とか、そういった補助金は増やしていただいておるということで、大規模な土地でない、山間部のほうは、やはり鹿とかイノシシの有害鳥獣で、もうやっとれんということで離れていかれる人がおられるんで、それも含めて、また考えていただけたらと思います。

○坂本産業振興課長　この有害鳥獣の件につきましても、猟友会の方と協力しながら、今、捕獲にも努めております。そういった中で、今、こういった県からの補助金など、いただくような手続と、あと例年補正予算でお願いしているという部分がございましたので、令和７年度につきましては、当初予算の段階でちゃんと数字を見込もうということで、今回、増額という形にはなっております。

　それとは別にはなるんですけれども、今後、この担い手の部分ですけれども、猟友会の方への狩猟の免許の手数料の助成でありますとか、いろんな奨励制度、そういったものもこの補助金の

中に入ってございます。そういったところも、今後、手厚くしていく方向性で検討してまいりたいと考えております。

○尾川委員　資料、有害鳥獣の捕獲状況の一覧表見せてもろてから、今年特にどこへ重点を置いて考えとんか。要望があったから、鹿が多いでというたらそこへ行くとかじゃなしに、市としたら、担当者としたら、どのあたりに重点を置いて、要するに、どういう害があるかということが一番と思う。捕獲数が１，８００か１，９００、令和４年度は少ないけど、このあたりが、大体目標とした数値で考えられとんですか。それとも、これくらいの捕獲じゃあ、増えるほうが多いと見られとんか。その辺どういうふうに考えて今年はやろうとしとられるんですか。

○坂本産業振興課長　捕獲の状況につきましては、資料を御覧いただいているとおりでございますが、令和７年度につきましても、やはりメインは鹿とイノシシを多く捕っていきたいというところでございます。通常であれば、これだけ年間捕っていれば、少しは減ってほしいなというのが正直なところでございますけれども、どこから出てくるのかというような議論もあるんですが、なかなか減る方向になっていないという実情もございます。

駆除班の方、それから猟友会の方は非常に頑張っていただいておりますが、こちらも高齢化しておりまして、担い手の部分の、やはり検討をしていく必要があるというふうに考えておりまして、今後、令和７年度につきましては、そこのところを重点的に、駆除班への人の増員、そういったことを考えていけたらというふうに考えております。

○尾川委員　特に、イノシシが、人的被害というか、危害を加えられるというのは、鹿もあるかもしれんけど、イノシシのほうで、例えば困る問題で、猟銃の使用の許可というか、緩和するというふうな、いつになるか知らんけど、イノシシ対策で、備前市というか、このあたり、岡山県では検討はされてないですか。

○坂本産業振興課長　今の猟銃の規制の緩和というあたりは、私も具体的には伺っておりませんけれども、イノシシの人的被害というのは、令和６年度につきましても、伊里地区でございました。登下校の児童・生徒が危険な目に遭わないようにという対策も、猟友会の方と連携しながらやってまいりました。今後も、そういったところ、情報を早くキャッチして取り組んでまいりたいと思います。

○立川委員　３６、３７ページ、県支出金、県補助金で、総務費補助金、地域振興費補助金、地域公共交通維持確保支援事業補助金、これ都計が入っとんですけど、事業について御説明いただけたら。

○井上都市計画課長　地域公共交通維持確保支援事業補助金１００万円についてですが、歳出で、西片上駅舎改修工事事業費、委託６，０００万円、工事４，０００万円、そのうちの財源として、この県費補助金１００万円を充当していく予定としております。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳入を終わらせていただきます。

次に、歳出に入ります。

審査の範囲は、６０ページから８１ページの２款総務費、１項総務管理費までを審査の対象といたします。

○青山委員　６９ページの総務管理費、１５節工事請負費の施設整備工事９，２９１万７，０００円の工事内容を教えてください。

○河井産業建設部長　９，２９１万７，０００円につきましては、学びと遊びの健康プラザの４階に整備を予定しております通信制高校の整備事業費となっております。

○青山委員　どのような内容の工事になりますか。

○河井産業建設部長　教室、職員室、面談室等、教室ですね、こういったものの整備、それから電気設備、エアコン等の空調設備、それから防火設備、その他電気設備と一般的なものを全て網羅したような形での整備になります。

○青山委員　職員室と教室と分けて、それぞれが機能するようにということと思うけど、教室の規模、何人ぐらいな生徒が入られる規模でしょうか。

○河井産業建設部長　詳細な人数までは決定しておりませんが、１教室を約８０平米ということを見込んでおりまして、その教室を３部屋整備するというような形で計画をしているところでございます。ただ、開校当初には、そこまでのスペースはまだ要らないのかなと思いますけれども、整備するタイミングで、将来を見据えた整備をしておくということを検討しているところでございます。

○青山委員　附属の教室といいますか、施設といいますか、普通学校では、図書室があったり、実習教室があったり、音楽室やそういったものはあると思うけど、そういう附属のものは何か考えられてますか。

○河井産業建設部長　通信制高校のサポート校という形になりますので、そういった教室のほうは、今のところ計画はしておりません。

○青山委員　サポート校ということですけど、私も通信制に勤めていたんで、スクーリングで学校へ来たときには、そういった授業も行うと思うけど、これ私立なんでどういうことをされるんか分かりませんけど、例えばこのスペースで、そういったものができないという場合に、代替えを何か考えられてるとか、そういったことはありますか。

○河井産業建設部長　学校法人側と協議をしながら、スペース的なものは検討しておりますので、私どもが単体で検討しているわけじゃなくて、学校法人の意向を基に準備しておりますので、十分充足していくというふうに私どもは認識してるところでございます。

○青山委員　こういった授業のやり方、設備の使い方をするということが分かるんであれば、そういったものがもし見えるものがあるなら、報告していただいたほうがイメージがつきやすいと思うけど、そういう資料はないですか。

○河井産業建設部長　現時点では、私ども、鹿児島まで視察に行ってまいって、施設も学校自体を見学させていただいておりますので、状況はある程度は把握しておりますが、それと同一にはなりませんので、規模感がまた違いますので、現状では、まだ学校法人様と詰めている状況でございますので、ここで何をすると、この教室で何をするというところまでは具体的に決まってないという状況でございます。具体的に見えましたら、改めて報告はさせていただきたいと考えております。

○青山委員　そういうものが分かり次第、委員会なりで、イメージしやすいものを出していただけたらと思います。

○石原委員　その事業ですけれども、財源については、一般財源でよろしいでしょうか。

○河井産業建設部長　振興基金を充当するようになっております。

○石原委員　可決されますと、この施設整備工事は、新たな契約、新たに入札等を行うというのは、新たな契約ということでしょうか。

○河井産業建設部長　今の想定としまして申し上げますと、新たに入札をして契約するという方向で、今検討しているところでございます。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、８０ページの２款総務費、２項徴税費から、ページ数は多いんですが、審査対象は少ないので、１２４ページの４款衛生費、３項上水道及び簡易水道費までを審査範囲といたします。

○石原委員　先ほど、河井部長から振興基金を充当されているということで、こういった事業に対しては、国等の補助金はメニューとしてはなかなかないというところでしょうね。

○河井産業建設部長　こちらのほう、補助金を私どもも探しました。何かいいものがないかということで探しましたけれども、なかなかこういった事業に対して補助金がないということで、財源は振興基金となっております。

○守井委員　３項上水道の繰出金、水道事業会計繰出金８８３万７，０００円、例年と、通常と昨年も変わらないですが、この繰出金の状況は。繰り出しをできるだけしなくて済むような方向に行っているのか、繰出金を増やしていかなければならない状況にあるのか。

○河井産業建設部長　上水道事業への繰り出しでございますけれども、こちらは、基準に基づいて消火栓の整備、統合水道、昔の簡易水道の上水道に統合した部分の起債の償還金、それから地方公営企業職員、こちらの児童手当に要する経費が繰り出し基準にございますので、その部分だけを繰り出しておりますので、例えば運転事業費に一般会計から繰り出しているということではございませんので、おおむねこの程度の金額を、例年推移していくということでございます。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

１２４ページの５款労働費から１３４ページの６款農林水産業費までを審査対象といたしま

す。

○尾川委員　１２５ページの労働諸費、負担金補助及び交付金の和気地区雇用開発協会の負担金２０万円、今年はどういう計画で求人活動やるんかなという活動方針。会長がおってやりよんじゃから、あまり口出せんのやろうけど、担当者としての考え方を教えて。

○坂本産業振興課長　こちらにつきましては、現在、備前市、赤磐市、和気町と２市１町で合同で、この和気地区雇用開発協会とハローワークさんを基に、共催で合同就職面接会と企業説明会を年２回開催いたしております。令和７年度も引き続きやっていきたいと考えております。

令和６年度の参加者につきましては、市内の企業からは１６社の参加等をいただいておりまして、企業からは、もっと出たいというような御要望もいただいているので、会場を大きくして、市内企業の参加がもっとできるようにというような努力もしているところでございます。

○尾川委員　企業数とか規模とか、倉敷と備前、和気は比較にならんけど、紙媒体がええかどうかは問題あるけど、学生たちに東備地区にはこういう企業があるよということを知らせんとおえんということと、一般質問で、提案として、地場産業で、本社が東京とか大阪あたりにある会社に、現地採用、大卒の現地採用を頼んでみたらどうですかということを言うた。そういう雇用がなかったら、備前市に何で住まんのというたら、いつも雇用がねえと、ええ場所がねえ、就職口がねえと。地域創生ということでやるんなら、積極的な雇用開発せんと、住んでもらう、やっぱり仕事場がなかったら帰ってこんと思う。これ２０万円、付き合いでしょうりゃええというふうなことをしょうると、人がおらんようになるし、御存じのとおり昼と夜の人口の比で、今は、昼のほうが夜より多いということを得意げに言よんじゃけど、結局、逆に言うたら、住む人が少ねえということになるんで、そういうことを手がけていただきたいと思う。その辺の担当者としての考え方を教えて。

○坂本産業振興課長　尾川委員のおっしゃることよく分かります。本社が市外にある会社につきましては、やはり学生、大学生の募集というのは、本社採用というのが多く見受けられます。一方で、市内に本社があるという中小企業さんにおきましては、そういうことにはなっておりませんので、そういったところへの働きかけというのは、随時やっているところでございます。

備前市の場合、製造業の会社におきましては、やはり現場採用という、高校卒の、例えば機械とか電気とか、そういう業種といいますか、そういう科目の高校を卒業された学生が欲しいという声を多く耳にいたします。そういったところも、備前市の特異性なのかなというふうにも感じておりまして、そのあたりは、企業の方のお話をよく聞きながら、どういう方向性がいいのかというのは検討してまいりたいと考えております。

あとこの和気地区雇用開発協会とも、なるべく学生さん以外にも、今は中途採用の方も多くいらっしゃいますので、裾野を広げた就職面接会というものも実施するようにしておりまして、一番直近で開催いたしました、先月２月に行ったところでは、もう６０歳を超えた方を、本来でありましたら、通常そういうところの方には御案内しないですけれども、そういった方にも、ハロ

ーワークを通じて参加いただくことも取り組んでおります。まだまだ現役で働けるという方をぜひという会社もございますので、そういったこともやっているというところで御理解いただけたらと思います。

○尾川委員　雇用の場の開発を、お付き合いでやるという考え方があって、それでどうも活動が物足らんというか、ジレンマがあると思うけど、そうはいっても、やはり雇用の場をつくるということが、一番人を寄せる、魅力ある仕事場をつくらんと、人は寄ってこんと思うんで、その辺をすぐすぐじゃねえけど、少しそういう視点で、具体的な施策をぜひお願いしたいと思う。

○石原委員　１２８、１２９ページ、農業費の中の農業振興費負担金補助及び交付金、先ほど補正予算にも出てきました多面的支払交付金事業負担金、実績を鑑みられて縮小しておりますけれども、７年度、現状として団体はどれぐらいで見込んどられるんでしょうか。

○坂本産業振興課長　実施していただいている対象の地区といいますのが、新庄、佐山、吉永の飯掛、大内、坂根、今崎、日生の寒河というところで、１０組織でやっていただいております。先ほども申しましたように、それぞれがやっていく活動というのが縮小傾向にございまして、今の状況というところでございます。

○石原委員　その幾らか下の中山間地域については、ここのところ、そんなに大きな動きはないということでよろしいか。

○坂本産業振興課長　こちらは、１１の集落でやっていただいております。こちらは、金額的にもあまり変わっておりませんが、同様の規模で維持していただいているという状況です。

○尾川委員　次世代人材投資資金が減額に、それから、新規就農者にしても相当減額になってきとる。ということは、国の地方財政対策というんで、協力隊７，０００人ぐらい全国でおるらしい、１万人ぐらいに増やそうかという流れがある。そういうところからしたら、増えるところが、うちら備前市はますます二居住というか、人が寄ってこんということになってきょうんじゃ。そんなことから見たら、これ本当、こういうのを見て、ただ少のうなって、費用がかかりよらんからええというんじゃなしに、若手の就農者とか、若手の新たに来る人が少のうなりよるとかという読み方をしたときに、国がとにかく協力隊で地方へ人を流さにゃいけんということでやろうとしとんじゃけど、備前市はついていけんということになってくる感じがある。寂しい話じゃけど、ちょっとその辺で方向転換というか、考えてやってもらえたらと思うけど、その辺の施策について。

○坂本産業振興課長　多面的機能のほうにつきましては、確かに全体の３分の２ぐらいの事業費になりまして、ちょっと私も寂しい気持ちがしているところです。頑張ってやっていただきたいなという気持ちは非常に持っております。

あと、中山間地域のほうが、逆にそのまま維持しているというようなこともございまして、そこは安心しているという部分もございます。

それから、新規就農、それとか次世代のところというのは、令和５年度あたりはちょっと多か

ったのかなというのもございまして、人員の確保という意味でいいますと、やはり地域おこし協力隊で来ていただいた方が、そのまま就農するというケースが多かったのかなというふうにも思っております。ですので、そういったところは、今後も受入れをできればなとは考えますし、あとそれ以外の方にも、もう少しやはり収益性を高めた農業というところで、魅力のある農業というところをしっかりＰＲして就農していただくということも必要かなというふうに考えております。

今後も、そういった県の制度、国の制度なんかも、よく私たちも理解しながら、皆さんに説明していけるようにしたいと思っております。

○石原委員　１３２、１３３ページで林業費、１３節委託料、森林経営管理業務委託料３８０万３，０００円、新規事業の概要にもございますけれども、しばらくの間調査が進んできて、対象区画が４７区画の予定で、これまた課長、後刻で委員長、その４７区画、どういった形で広がっとんのかという、何らかでお示しいただけたら勉強になると思いますけれども。令和７年度につきましては、こういった計画が作成されて、いよいよ間伐の作業にも、伐採の作業にも入っていくという流れですけど、対象区画が７年度分が６区画とございますけれども、その６区画どちらになるんでしょうか。

○坂本産業振興課長　備前市の場合、吉永町の北部に全て集中しております。場所といいますと、詳しくなかなか申しづらいですけれども。

○石原委員　間伐予定面積が２．２ヘクタールの計画策定のところから間伐作業まで、この金額で大丈夫かなと思いながら。間伐作業のところを、素人にも分かりやすいように。

○坂本産業振興課長　この森林経営管理業務といいますのが、本当に、私たちも、まだどこまでのものかなというようなところがございます。石原委員言われますように、今までは、段階としましては、大きく４段階に分けた際に、意向調査の準備の作業、それから意向調査を実施というところまでを令和６年度まででやってまいりました。その次の段階に、次は移ってまいりまして、令和７年度からは、経営管理権の集積計画の作成、それから経営管理、森林所有者と関係権利者の同意が得られましたところから、先ほどの間伐などに施業をしていくというところで、現状、まだ予定面積というところで、実際にどれだけの面積をやっていけるかというのはちょっと分からないというところがございます。

どういったことをするのかというと、基本的に、杉、ヒノキの人工林のところを手がけていくというところになるんですけれども、枝打ちでありますとか、あと大きく育っている木を残して、あと小さく、またこれから生えていくというような木なんかを除伐していくような、そういう作業になってくるのかなと思っております。このあたりは、専門家のほうにいろいろやり方なんかをお伺いしながらということにはなってまいります。

委託ということになっておりまして、大体こういったことをやっていただいておりますのが、公益社団法人のおかやまの森整備公社というところとかがやっております。そういうところから

も、私たち、もう少し勉強しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

○石原委員　同じ委託料で、昨年、草刈り作業の委託料８０万円ほどございましたけれども、７年度ないけど、なくても大丈夫ですか。

○藤森建設課長　草刈り作業委託料につきましては、道路作業員等を活用しまして実施していきたいと思ってます。

○尾川委員　１２９ページ、委託料、ハザードマップ作成委託料、減っとんですけど、このあたりの計画と、それから実際、効果というか、ハザードマップなんかあんまり見とうねえというのが本音じゃけど、そのあたりについてどうお考えか。

○藤森建設課長　ハザードマップ委託料につきまして、令和５年度までに８９池、３５マップ、令和６年度３１池、９マップ、来年度、令和７年度に１８池、８マップというような計画を予定しております。

これで、一応防災重点ため池、決壊すると、人身の、人々の生活に影響するというような池に関する、決壊した場合のハザードマップはこれで完成ということで考えております。

今現在でも、万が一のことに備えながら、こういうため池が決壊した場合、こういう逃げ道があるよと、ここへ逃げればいいよというような情報を、皆さんに提供しながら、万が一に備えるための情報提供をしてまいりたいということで作成しております。

○尾川委員　市のつくっとる防災計画との連携、その辺の関係づけはどう考えられとん。例えば、防災計画の、また別にハザードマップが配られとるが。その辺の防災ため池と違う、範疇が違うと言うけど、住んどる者は一緒なんで、その辺の連携、１冊、冊子にするとか、そういう考え方で知らせるということは、知らせないけんのじゃけえな。とにかくそれは認識せないけん、よう分かっとんじゃけど、その辺の連携を、防災計画と、それから備前市のつくるハザードマップとか、この防災ため池のハザードマップ、一緒にすべきと思うけど、その辺の取扱いについてはどのようにお考えなんか。一遍に見えるように、目的が違うから、いろいろ難しいのは難しい。じゃけど、ある程度認識しとかんとしょうがねえからね。

○藤森建設課長　ハザードマップにつきましては、市の防災の関係のホームページのほうに同じように掲載はさせていただいております。いろんな状況等が考えられますので、その辺を１枚にすべきかどうかというのを、今後検討させていただけたらと思います。

○山本委員長　よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、１３４ページの７款商工費だけでお願いします。１４０ページの７款商工費まで。商工費だけでお願いします。

○尾川委員　１３７ページ、補助金の問題がいつも問題になっとんじゃけど、担当者、皆それぞれ違うと思うけど、誰か取りまとめて、負担金補助及び交付金の、特にいろんな行事の補助金、それから会議所とかの補助金についての今年の考え方を、ちょっとあらまし、今年の方針という

か、予算を組み立てた考え方を教えて。特に、祭り関係とか、そういった関係だけで、あと商業振興関係は、また後、質問させてもらおうと思う。

○坂本産業振興課長　私のほうからは、片上ひなめぐりの補助金とか、そういったあたりをちょっと御説明させていただきます。

市長も常々、備前焼まつり、かき祭、ひなめぐりということで、備前市の３大祭りにしたいというような発言をされておりまして、こちらについては、昨年同様３００万円の補助金という形になっております。

商工会議所の補助金につきましては、昨年と同額でございます。

商工会の補助金につきましては、要望額どおりということになっておりまして、こちらにつきましての考え方は、市のほうからいろいろ御協力を求めた場合に、正直なところ、いろんな形で御協力はいただいております。今検討しておりますのが、経費削減の観点から、今商工会のほうは拠点が３か所ございますが、そちらを何とかまとめていただけないかというようなお願いもしていただいておりまして、それを内部での協議というものも進めていただいているところでございます。一昨日もありました事業承継のこととか、それから創業塾など、商工会のほうは積極的に取り組んでいただいておりまして、そういったところが評価されたのかなというふうに考えております。

○横山日生総合支所長　日生総合支所から、日生夏まつり補助金について御説明させていただきます。

ひなせみなとまつりが、コロナ明けから過去２年間行っております。コロナ明けから久々の開催ということで、予算等、見通しが立てにくいことや、あと合併２０周年ということもあって、８００万円という予算計上しておりましたが、２年間行うことで、事業所などからの協賛金であるとか、出店者からの負担金による収入の実績が見込まれたことから、ある程度、事業の見通しが立ってきたことがありますため、今回減額となっております。

具体的な事業計画については、実行委員会で協議していくことになりますので、どう進めていくかは、今後考えてまいります。

○尾川委員　ひなめぐりなんかも、頑張ってやっていきょうるということで、３００万円というて高そうに見えるけど、マスコミ報道関係が結構かかって、確かにアンケート取ったら、新聞見たというて来るんです。金額はあれとして、無視するわけにいかんと。実際実行委員会も、あまり金渡してもようねえかも分からんのやけど、その辺の兼ね合いも。結局、３００万円というて、みんな多い感じするけど、よそへ行ってしまう感じで。じゃけど、アンケート取ったら、新聞を見て来たと。今ＳＮＳとかあるけど、やっぱり新聞見たというのが、アンケートで数、二、三百じゃけど、そういう回答が結構多いから無視できんと、そんなことを理解してもらいたい。

それから、空き店舗商業振興、これ１５０万円、１００万円ほどあるけど、取組について、考え方というか、なかなかそう簡単じゃねえけど、やはり活性化のためには必要と思う。その辺の

取組、昨年度が新たな家賃補助を提案されて、行い出したと思うけど、そのあたりについての取組を教えて。

○坂本産業振興課長　この空き店舗の家賃補助の事業につきましては、令和６年度に開始いたしまして、年度途中からではございましたが、１件、補助をしているところでございます。

令和７年度につきましても、既に御相談をいただいておりまして、この事業の活用というところで、市のほうのもくろみのとおり進んでいっているのかなというふうに考えております。やっぱり商店というところでの補助ということが、今はこういったもので、何とかにぎわいの創出にもなったり、いろんな方に足を運んでいただく、この片上商店街の中でもきっかけになっているんじゃないかなというふうに感じているところです。

あと事業承継の補助金というものも、昨年度から予算化しておりまして、こちらは数件、御相談をいただいております。現状申し上げますと、カキオコ店なんかも高齢化をしておりまして、そういったところの事業承継というのが、商工会さんの中で勉強会を開くなど、いろいろ取組もしていただいております。そういった中での１件、令和７年度では事業承継に向けた御相談をいただいているというところで、今は１件分という予算なんで、もしそれ以上に御相談があるようでしたら、また補正予算などお願いしたいというふうに考えております。

○山本委員長　商工費で質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

暫時休憩します。

午前１１時５３分　休憩

午後　１時００分　再開

○山本委員長　休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○藪内委員　１３７ページ、商工費、１９節負担金補助及び交付金、先ほど、坂本課長から説明があったが、商工会議所の補助金の説明と商工会補助金の説明が、それだけでは不十分のように感じたんで、もう少し詳しくお願いできますか。

○坂本産業振興課長　商工会議所につきましては昨年同様ということで、なかなかそれ以上申し上げにくいところかなと思っております。

東商工会につきましては、先ほどの説明と同じになるかもしれませんけれども、基本的には、経費削減の観点から、日生、三石、吉永の３か所の拠点についての統合、それから人員削減など、検討協議をしていただいております。それから、事業承継の事業でありますとか、創業支援の事業に関しましても積極的に活動していただいております。そういったところが、大きくここで差が出たところなのかなというふうな感じをしております。

○藪内委員　商工会議所のほうが、何か協力してないというように感じるが、今の説明だと。そうなんでしょうか。

○坂本産業振興課長　そこのあたりは、いろいろ申し上げにくい部分もございますけれども、い

ろんな事業から手を離す傾向にもございまして、いろんな団体の事務局などをやっていただいたものをやめるというような方向がずっと続いておりまして、それが市のほうへ回ってくるというようなこともございます。先ほどのひなめぐりの事業なんかにつきましても、もともとは、会議所へ補助金をお出しして、そこから会議所が支援をしながら進めていた事業だというふうな流れからしても、なかなか御協力は、地域のことに対してあまりやっていただけないというような傾向にございます。

○藪内委員　あまりそういう事情も分からずに、立ち入ったことをお聞きしたわけですけれど、それにしても、１，０００万円以上差があるというのが、やはりどうも納得いかないが、今言った説明で、これ全て賄えますか。

○坂本産業振興課長　ここの補助金の関係に関しましては、一般質問の中でも、市長のほうから答弁もあったように、そういった諸事情というのがあるのかなというふうにも感じますけれども、金額にそれがどう反映しているのかという部分につきましては、正直市の方針ということしか、私からは申し上げられません。

○石原委員　同じところで、内情、もろもろございましょう、それから毎年、議会、執行部併せて、こういった団体から、補助金に対しての要望等も、お見受けする背景もある中で、それにしても、一方のたしか５００万円であった補助金が１，２８２万２，０００円ですか。こういったあたりも、先ほど言われたような背景があるにしても、その根拠が非常に曖昧であって、幾らを要望されとったんか定かではございませんけれども、そういう事情もありながら、こういったある積算根拠をもってこの金額になったでしょうけど、先ほど来おっしゃっとった、そこは市長のお考えというところになるんですか。

○坂本産業振興課長　商工会さんにつきましては、１，２８２万２，０００円というのが、御要望いただいた額となっておりまして、それが満額ついているという状況です。商工会議所さんの２００万円というのは、もともと１人分の人件費相当という考え方をいたしております。そういったところで御理解いただけたらと思います。

○山本委員長　土木費へ移らせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

８款土木費のみを審査いたします。

１４０ページから１５１ページを審査対象といたします。

○尾川委員　１４１ページ、工事請負費の施設整備工事、残土処分場と思うけど、昨年に比べたら、かなり金額も下がってきて、もう終わりかなという感じですけど、その辺説明をお願いしたい。

○藤森建設課長　施設整備工事費につきましてはれ、委員おっしゃるとおり、残土処分場に関するものでございます。今年度は、しゅんせつ残土処分場の供用開始に伴い、場内道路の舗装が破損しているところについて舗装するという意味で、５００万円を計上してる状況でございます。

○尾川委員　県は用意すりゃ取っちゃるという話にしとったんですけど、最終的にこれできて、いつ頃から正式に施設は稼働する、使えるようになるんですか。

○藤森建設課長　現在、堰堤のコンクリート打設を順次施工中でございます。完了見込みにつきましては、令和７年度中頃を予定しております。

また、運用につきましては、関係各署、また環境課等とも今協議中でございます。

○尾川委員　河川の市の管轄か県の管轄か、そのあたりもあると思うけど、しゅんせつ推進事業についてどうお考えか。いろいろ要望出てきて、今までもできるまで待てということで済んどったと思うけど、国のほうも、緊急しゅんせつ推進事業ということを、河川等のしゅんせつに力入れとるようなけど、こういうことからしたら、災害防止のためにも早めに措置していかないけんと思う。県河川、市の河川、両方かかわらずにやっていく、その辺のあらましを教えて。

○藤森建設課長　委員おっしゃるとおり、県及び市の河川残土、しゅんせつ残土について、そこで持込みして処分していくということで考えております。

○守井委員　関連で、堰堤の工事の完成はいつの予定ですか。

○藤森建設課長　先ほど申し上げましたとおり、現在、堰堤のコンクリート打設を順次行っております。令和５年度、６年度、岩盤掘削を行っておりますが、岩盤が想定以上に固いということの状況がございまして、掘削作業が難航しているという状況で遅れておる状況でございます。１０月をめどに、何とか竣工をということで、今順次、準備を進めておる状況でございます。

○守井委員　あと運用の話が出てくると思うが、先ほどありましたけれども、備前市内、県河川が多い、その残土処分、しゅんせつを行ったものを持ち込むという形になるが、料金、無料とか、その辺の検討はそちらでやられるようになるんですか、環境課でやられるようになるんですか。

○藤森建設課長　建設課で検討している状況です。

○守井委員　市内のしゅんせつ土なんで、できるだけ事業が進みやすい形で、無料なら無料でやっていただけるように検討していただけたらいいと思いますんで、よろしくお願いいたします。

引き続いて、１４７ページの都市計画総務費の役務費の委託料、工事施工監理委託料、片上駅舎の修繕なり、改修６，０００万円ですけど、その内容は。倒してから改めて建て直すか、どういう形になるのか、概略分かれば教えて。

○井上都市計画課長　こちらのＪＲ委託業務の内容について御説明させていただきます。

現状の建物の外壁、内装を壊して、新たに内装の間取りとかを修正していく工事内容になります。現在、仮駅舎整備工事を進めておりまして、これを今年度中に外観を造ります。その外観ができた後に、ＪＲ委託工事の中で、現在使用しているＩＣＯＣＡ、券売機、そういったものをまず動かします。その支所移転工事をこの委託業務の中でＪＲさんにお願いしていく形で、現状の駅の形状としては、外観的には変わりませんが、ＪＲ委託工事の中で、架電設備がこの駅の上空にありますので、屋根の付け替えであるとか、ホーム側の壁、そういった建築物工事についても

ＪＲ委託業務のこの６，０００万円の費用の中で行っていく予定としております。

○守井委員　先ほども話がありましたけれども、工事請負費の県の補助事業があって、これが片上駅舎と聞いておるけど、そっちの事業はどんな形になるのか、一体的にやられるんでしょうか。別物、トイレとかそういう形のものになるんか、そのあたりいかがですか。

○井上都市計画課長　先ほどの地域公共交通の県費補助の該当の部分についてですが、トイレとか、そういった特化したものでなくて、駅舎改修全体の中の一部補助というイメージのもので認識いただければよろしいかと思います。

○守井委員　トイレの話も出てましたけど、やり替える形になってるんですか。

○井上都市計画課長　今回の工事の中で、トイレ等の改修も計画しております。内容といたしましては、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ、そういったものを網羅したような形の整備を進めていく予定としております。個別の内容といたしましては、女子トイレが２つ、男子トイレが大、小１つずつ、多目的バリアフリートイレが１つの予定としております。

○守井委員　もちろん洋式のトイレが入るような形になるんでしょうか。

○井上都市計画課長　委員お見込みのとおりの予定としております。

○守井委員　できるだけ早めに出来上がるように頑張っていただきたいと思います。

○尾川委員　関連で、一番心配というか、バリアというか、階段が一番問題、きれいにしてもらえるのはありがたいけど、そのあたりの対策は、エレベーターという話があって、結局ＪＲも３，０００じゃ５，０００人の規模でないと、なかなか重い腰を上げんじゃろうし、市としても、何千万円じゃきかんのか、億かかるか知らんけど、その辺何か設計上の工夫、歩きやすさとかについての配慮は、少しは設計段階で、もう設計もできとんじゃと思うけど、どういうお考えか。

○井上都市計画課長　今委員が言われましたエレベーター等のバリアフリーというのは、かなり多額の費用がかかりますので、まずそういった大きな工事の前に、駅舎改修でできるバリアフリー的なものが何かないかといったところを注視しましたところ、国道の路肩部分からの出入口の段差解消であるとか、流川線から上がった階段と既設駅舎との段差の解消、まずはそういったところから進めてまいりたいと思っております。

○守井委員　１４３ページの土木費の道路新設改良費の工事請負費、１５節工事請負費の道路新設改良工事費が３，５００万円ということで、昨年８，８００万円であった。金額が少なくなっておるけれども、何か理由がありますか。

○藤森建設課長　お手元に資料をお渡ししていると思うんですけども。

　工事請負費としましては、浦伊部の浦伊部線の舗装工事ということで３，５００万円上げさせていただいております。

○守井委員　積み上げで３，５００万円になったということで、積み上げた結果そうなったという判断でよろしいでしょうか。

○藤森建設課長　令和７年度の当初予算としましては、浦伊部線の舗装工事のみを上げているということでございます。

○尾川委員　１４３ページの負担金補助及び交付金、国道３７４とか国道２号の期成会の負担金、事務費程度でしょうけど、今年度どういうふうに、３７４号は備前市の該当路線は短い、ほとんどが和気町とか美作市になってしまうと思うけど、３７４号の計画と、国道２号の取組課題について説明してもらいたい。

○藤森建設課長　まず、３７４号でございます。委員おっしゃったとおり、備前市、３７４号につきましては、ほかの他市町村に比べたら若干距離が短いという状況ではございますが、こちらのほうとしましても、２号線のところから上がるところの３７４号のところの歩道整備とか、伊部越えのところの歩道整備等を要望はしていっているような状況でございます。

引き続き、国道２号につきましては、国道２号期成会ということで、他市とも合同で期成会を結成しておりまして、備前市が幹事市ということで音頭を取りながら進めている状況でございます。今現在、国道２号香登の歩道の整備を進めていただいているという状況でございます。

○尾川委員　伊部の交差点も３７４号の整備ということにも捉えて範疇に入れてもろて、２号と３７４号と両方で取組、もう少し十字路のあたり、３７４号と国道２号、２５０号になるんか、その辺の取組をお願いしたい。それから国道２号の騒音対策、昨年もたしか言うたけど、国道２５０号で、２号のほうが相当高速で走るから、トラックも多いし、騒音対策の舗装をするということは分からんでもねえけど、住みやすさということから、２５０号の市街地あたりも徐々に歩道つけてくれというてもなかなか前へ進まんところがあるけど、そのあたりの考え方について示してもらいたい。

○藤森建設課長　委員おっしゃるとおり、国道２５０号も、当然整備を要望していくような状況ではございます。こちらにつきましては、岡山県が管理しておりまして、県要望ということで、歩道整備、あと交差点改良等、いろんな面につきまして要望はしている状況でございます。

○尾川委員　２５０号で、今市民センターのあたりの交差点改良をしてないわけで、これから進んでいくと思うけど、あのあたりの整備の計画があると思うんで、そのあたりもどういうふうにして、これも２０年、３０年以上、５０年も先の話になると思うけど、その辺の取組もやっとられると思うけど、３７４号とか国道２号、２５０号の絡みで、せっかく整備促進期成会があるから、２号の４車線化が一番大きな問題でしょうけど、取組は難しいかも分からけど、長期的な視野でぜひ進めて、怠らんように、ぜひお願いしたいと思うんで、その辺の取組について説明してください。

○藤森建設課長　委員おっしゃられるとおり、２号と３７４号につきましても、他市町村含めて期成会をつくって合同で要望しているような状況でございます。これと併せて、２５０号につきましても、いろいろ皆さんの意見を取り入れながら、県のほうに要望してまいりたいと思っています。

○青山委員　１４３ページ、道路新設改良費の工事請負費、交通安全施設整備工事５００万円、資料を見ますと、交通安全施設整備、地元要望と、それから通学路交通安全プログラムとあるけど、具体的に教えて。

○藤森建設課長　それでは、工事請負費について御説明させていただきます。

まず、交通安全施設整備、地元要望につきましては、現在も、各地区からいろいろな交通安全に対する要望をいただいております。カーブミラーとか、転落防止柵、あと区画線等交通安全施設の整備をするための予算ということで計上させていただいております。

あと通学路交通安全プログラムでございますが、これは通学路交通安全プログラムに基づいて、各学校から要望をいただいている通学路における交通安全施設についての危険箇所等を整備するための予算ということで工事費を上げていただいております。

○青山委員　地元要望、いろんなものがそれぞれの地区で上がってくると思うけど、私走ってて、ちょっとひやっとするようなのが、今、横断歩道がもう薄くなって見にくい。横断歩道の前に立たれてるのか、ただそこにたたずんでいるのか分からない状況で、どうしようかなと思い思い通ってしまうこともある。その辺のことは、国道、県道、市道という区別もあるかもしれませんけど、どういうふうに考えられていますか。

○藤森建設課長　委員おっしゃるとおり、横断歩道等、道路を規制するような施設につきましても、警察等の管轄になろうかと思うんですけども、御意見いただきましたら、警察のほうにも、こちらのほうからも要望をしていっているような状況でございます。

○青山委員　各校から、通学路についての要望があるということですけども、具体的にどのようなことがありますか。

○藤森建設課長　グリーンベルトの設置とか、いろいろ要望を、今年度はいただいておりまして、坂根地区とか、何か所かさせていただいたような状況でございます。

○青山委員　道路につきましては、安全・安心も一番かと思いますので、点検とかを定期的にといいますか、回られたりはしとんですか。あるいは、地元の人にお願いをして、監視といいますか、見ていただいとると、何かそういう状況がすぐに把握できる状況はどういうふうにやられていますか。

○藤森建設課長　道路パトロールということ、道路パトロールの方々に、いろいろ情報とか提供とかいただいているような状況ではございます。あと、市の職員つきましても、現場に行く際に道路等の確認をしながら実際行っているような状況でございます。

○石原委員　１４９ページの都市計画費の公園費、工事請負費、解体撤去工事について御説明いただければ。

○井上都市計画課長　こちらの公園費、工事請負費の内容につきましては、老朽化したトイレが２か所ございまして、それの撤去費用として工事費１１６万２，０００円を計上させていただいております。

○石原委員　２か所のトイレ、どちらになるんですか。

○井上都市計画課長　場所につきましては、友延上、大東、２か所を予定しております。

○石原委員　その下の住宅費の住宅管理費委託料、草刈り作業委託料、今年度まで１２２万円を計上されてましたけど、こちらないけれども、こちらの作業については、７年度どういう形でお考えでしょうか。

○岡村土地住宅政策課長　草刈り管理委託料ですが、昨年度の当初では、委員が言われましたように、１２１万1，０００円の予算を計上させていただいておりましたが、７年度につきましては、担当部署直営で実施するということで、今思っております。令和５年度ですか、草刈り機も３機買ってまして、今年度もそれを使って、必要なところ、あと住民の方からお声があれば、その都度対応している状況であります。

○石原委員　夏場がぐっと草が伸びますんで、猛暑、酷暑の中、大変な作業も想定されますけど、くれぐれも御無理なきように。それから１５０、１５１ページの住宅管理費の１９節負担金補助及び交付金、電子ポイント取扱助成金、こちらが住宅リフォーム補助事業、復活したものと思うけど、この補助の対象となる工事、２００万円以上というところは、令和７年度はその形でしたか。

○岡村土地住宅政策課長　令和５年度まで住宅リフォームの助成事業を行っておりまして、今年度事業のほうはやっておりませんでしたが、７年度で復活ということで、基本的には、条件としましては２００万円以上の事業費、それから補助率につきましても１０分の２補助、上限額５０万円、これは、前回からは変更ないということになります。

○石原委員　検討に検討を重ねられての制度設計、予算化でしょうけれども、工事の規模、２００万円以上で、たしか吉村市長が１期目からスタートした事業だったか。この補助事業が一番、補助事業の中でも見直しに見直しが重ねられて、工事の対象工事の金額とか補助率とか補助金額とか、かなり変遷を経てきた事業だと思う。その中で、記憶してるのは、かつて１００万円以上にしてたときには、リフォームというより、例えば、エコキュート、給湯器、専らそっちのほうのリフォーム補助事業みたいになっとったのもあって、たしか２００万円以上みたいな形で工事の金額がアップしたのかなと。かつてやり取りがあったと記憶しとんですけれども、いま一度、予算可決後においても、そのあたりの制度設計についても、改めて、もし可能であれば御検討もいただいて、その工事の金額です。２００万円以上が果たしてどうなのか。他自治体では、小さな工事費でも、その分補助金は当然ぐっと下がりますけれども、補助率を適用して、工事のところはしっかり御検討いただいても、本当に小さなリフォーム工事でも急を要するところの市民に対応されたところへ幾らかでもみたいなほうが、何か困っとられるというか、市民にとってはありがたい面もあると思います。これも要望というか、一委員の意見として受け止めていただければと。

その下に、移住・定住、結婚新生活、こういうところは厳しいですか。始まってしばらくたち

ますけれども、実態のところが、これぐらいの予算見込み、この程度ということで、実績、実態に応じてという予算計上でしょうけれども、このあたりも、より一層のＰＲも、７年度しっかり取り組んでいただけたらと思います。これもまた要望でお伝えさせていただきたいと思います。

○尾川委員　１４９ページの委託料の都市計画費の公園管理等委託料１５０万７，０００円、昨年と比較したら下がっとんですけど、その辺は大丈夫かと思う、管理ができるんじゃろうかと。

○井上都市計画課長　委員御指摘の、昨年度に比べて幾らか減額になっておるんですが、昨年度、備品で草刈り機でありますとか、そういったものを購入させていただきまして、直営作業、そういったものでカバーできますので、減額になっておいても、通常の維持管理上、特に問題はないかと思っております。

○尾川委員　これは対象はどこになるんかな。

○井上都市計画課長　こちらの公園の対象ですが、茶臼山公園であるとか、片口の運動公園、また地区の公園、そういったもの全般の公園の維持管理の委託料というものになります。

○尾川委員　同じページ、住宅管理費、委託料の債権回収業務委託料が予算規模で見たら半減しとんじゃけど、何か債権放棄したとかというのがあった気がしたりすんで、その辺は大丈夫かな。

○岡村土地住宅政策課長　この債権回収業務委託料ですが、令和５年度決算でいいますと５７万円ほどとなっております。これも、当初はかなり回収の実績があったんですけど、一応滞納されてる方の年数とか、過去からのものになりますので、ちょっとこれを、新たにリストとかの見直しも行っておりまして、ライズのほうへ委託するのに、ある程度またそのリストの見直しを行って、また委託するようなことを考えておりますので、それに伴って、またこの見込み、回収のほうを行ってもらいたいなと思うのが一つと、今年度、当然担当課も、市内の滞納されている方とか、お電話なり訪問とかしております。結構今の担当の係の者も力を入れておりますので、そちらのほうも、今年度よく頑張ってもらってますので、その辺で、入居者様の事情をよく聞きながら、分割なり、払えるというのをよく聞きながらにはなるんですけども、そういう努力も、今後続けてまいりたいというふうに思っております。

○尾川委員　１５１ページの負担金補助、住宅管理費の移住・定住関係で、若年者家賃補助金も１割以上ぐらい下がっとんじゃけど、若い者が来んのんかなと思うたりするし、アパートも建たんな思うてな、備前市内。ちょっと金額見て、そんなことばあ考えるけど、なぜこうなったかというのを説明して。

○岡村土地住宅政策課長　この家賃補助金につきましては、家賃の２分の１以内で５万円を上限として補助を行っております。これにつきましては、令和５年度までこの事業を行っておりましたが、今年度、令和６年度はこの事業を行っておりません。ただ、この補助の対象期間が３６か月、３年間有効ということで、当然、その年度ごとで申請された方が対象になるんですけども、それが年々数が減っていっておりまして、最終的には、令和８年度途中で、一応この補助金とい

うのは終了ということとなっております。

○尾川委員　定住・移住で、市長の考えもいろいろあって、こっちがやっぱり家とか土地とか補助したらええんじゃねえんかと言うけど、この辺の単独した家賃補助で、期限が切れて３年間過ぎたら出ていくんじゃというたりする。実績、あんまりあからさまに皆さん方も話できんと思うんじゃけど、何かこれから連携した施策を考えて、これしたら絶対増えるとか、定住するとか、あるいは出ていかんとかという決め手には、いろんな要素が絡まって、初めて結果として出てくると思うんで、この辺の家賃補助金から、あとどうして引き止めるか。それと、入っとる若年者家賃補助金がどういう形態になっとんか、実態が。とにかく備前市内のアパートかマンションというか、借家というか、あまり建設が進んでないのは見とって、よそに比べたら低調だなと思いながら、こういう制度があって、それをつなぐ制度を考えるべきと思う。そのあたりのお考えはあるか、あれば教えて。

○岡村土地住宅政策課長　この家賃制度も、今年度は事業として行っておりません。先ほど委員御指摘ありましたように、補助期間が過ぎたら市外に出ていってしまうとかというような事象もあります。どういった補助でつなぎ止めていくかというのは、なかなか難しい面はあるんですけども、周辺の市町村なり、ほかの事例とかもよく情報を仕入れながら、いい制度があれば、それを生かしていきたいという思いもありますし、今現在、宅地の造成というのも進めております。それで、そちらのほうで、実際に土地を無償ということで今考えておりますけども、実際そこで建ててもらって長く住んでもらう、そういうのにも力を入れていく予定としておりますので、いろんなものを絡めながらやってはいきたいとは思っております。今後また、引き続き研究してまいりたいと思います。

○山本委員長　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育費に移らせていただきます。

１０款教育費、４項の高等学校費で一度区切らせていただきます。

１５６ページから１６９ページです。

○石原委員　１５９ページ、教育総務費、事務局費の中の負担金補助及び交付金で、奨学金に関して２つございますけど、奨学資金給付金６００万円は、想定としては例年どおり、６年度、１種と２種学生がおられて、それぞれ３名ずつ程度と、海外へ留学される方お一人の予算を見込んでいるとして、この制度を実施しますということだったけど、７年度は、何か変更点等あれば。

○川淵生涯学習課長　こちらの奨学資金給付金につきましては、７年度当初も、特段変更なく、予算を計上させていただいております。

○石原委員　これを御利用されて海外へ留学された方も、年間お一人ずつぐらいおられるんですか。

○川淵生涯学習課長　毎年、予算計上させていただいておりますが、過去にお一人だけ実績がご

ざいまして、近年は利用の実績はないという状況でございます。

○石原委員　これはホームページには載ってますけど、こういった制度のお知らせ、周知、広報をどういう形でされとんですか。

○川淵生涯学習課長　委員おっしゃられるとおり、ホームページはもちろん、広報紙にも募集の掲載はさせていただいております。

○石原委員　３つほど下の定住促進奨学金返還補助金、備前市のこの圏域、少し広い区域ですけれども、そこへしばらくおられて就業された方に向けてでしょうけど、こちらもホームページと広報紙でお知らせされとんですか。

○川淵生涯学習課長　そのとおりでございます。

○山本委員長　高等学校までで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、１０款教育費、６項社会教育費、１７０ページから１８１ページの社会教育費までを審査対象といたします。

○青山委員　１７１ページの社会教育総務費、１９節負担金補助及び交付金、行事企画運営補助金２，２００万円、これ新しいと思うけど、これについて説明お願いします。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　こちらの行事企画運営補助金２，２００万円につきましては、今年開館する備前市美術館を活用した自主事業や、公益法人移行を目指す中での自主展開を計画している備前市文化芸術振興財団への補助金になります。

○青山委員　美術館ということですが、その２つ下に、備前市文化芸術振興財団運営費の補助金５，５００万円上がっているけど、指定管理なんか受けると、その中でのやりくりと感じるけど、これはまた別で、同じ財団へ出されるということか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　こちらにつきましては、設立時期から運営補助金という形で事務局としての運営に必要な経費を補助しております。

○青山委員　その下の文化芸術財団へ払われる運営費補助金について、どのような内容か教えて。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　こちらにつきましては、来年度、先ほど申し上げましたが、新美術館の開館に合わせて、自主事業とか公益化を目指した事業を行っていくために、スタッフの増員も含めた運営費、人件費といったものが中心となってくるんですが、そういった内容となっております。

○青山委員　上の行事企画については、美術館の開館に向けての事務局の費用と、それから下につきましては、今後、毎年かかるスタッフの人件費という捉え方でよろしいか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　上のほうの補助金につきましては、自主事業としていろいろな計画をしております。そういった中での補助金となっております。

下につきましては、継続して補助しています運営費の補助金になります。

○青山委員　すっきり頭の中で整理できないけど、開館後も同じように、いろんな行事、イベントをやっていかれると思うけど、開館時は、開館を祝うようなピカソ展とかに特化してという捉え方でよろしいか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　文化スポーツ振興課から補助する内容といたしましては、文化芸術の振興に資する事業であったり、市民の自主的な文化活動の促進に資する事業として、例えば邦楽演奏会であったり、美術館弦楽コンサート、そういった計画をされているようです。

○青山委員　結局、合わせた７，７００万円が毎年かかると捉えればいいか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　継続してかかるものにつきましては、運営費補助金になります。行事企画運営補助金につきましては、先ほども申し上げましたが、公益化を目指した自主事業が必要ということで、いろいろな美術館の開館に合わせた、美術館にお越しいただいた方におもてなしをするものとかそういったことで考えているものですから、単発的なものと考えていただいても構わないかと思います。

○青山委員　この２，２００万円は、毎年かかる芸術財団への補助金と、５，５００万円は、今回でいうとピカソ展とか単発的なことの経費ということでよろしいか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　説明が不十分で申し訳ありません。

２，２００万円につきましては、来年度、申請がありますので、そういったことで計画している補助金であります。５，５００万円につきましては、運営費ということで継続してかかっていくものと考えていただけたらと思います。

○尾川委員　関連で、備前市文化芸術振興財団の運営について、企画書は見せてもらうわけにいかんのんかな。５，５００万円と２，２００万円、プラスアルファがあっちこっちばらまいとるから分からけど。どうせ運営委員会のメンバー、たしか前に見せてもろた気がするけど、どういう企画してどういうのをするかというのを。費用分担どのぐらい予算立てとる、何ぼかあると思う、計画書が。それは見せてもらえんのかな。それだけ聞いてもろたらと思うが。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　財団の１年間の実績報告的な冊子につきましては、皆さんに見ていただける形で報告をさせていただいてると思います。ただ申請につきましては、ちょっと確認をさせてください。

○尾川委員　財団じゃというても、活動の裏をきちっと明白にしとかんと、多い少ねえは別にして。何にこういうことをします。企画はこの間も聞いたけど。線引きは分からんけど、こっちとすりゃ、５，５００万円をみんなに説明するときに、これに対してどういう裏になっとんかというたときに、あれを見い、これを見いと言やあええと思うとんで、その辺を確認してください。

○石原委員　先ほど、青山委員も取り上げられました上から２つ目の行事企画運営補助金２，２００万円、美術館開館に合わせて自主事業化、自主事業で行われるもの、それから公益化を目指した事業という御説明だったけど、一体どのような行事なのかと、そういうところももし可能で

あれば、こんな事業がこの２，２００万円で行われますというのも、分かりやすい形で、口頭でも結構ですし、多岐にわたるんであればペーパーでも結構ですが。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　具体的に、今計画として上がっているものにつきましては、文化芸術の振興に資する事業として、マイムカンパニーという、音とかを出さずに表現する、体で表現して見せる劇になります。そういったものであったり、それを学校観賞会、それからそのワークショップとかも計画をされているようです。また、子供オペラといって、ゼロ歳から音楽と朗読のクラシック名曲コンサートとして行うものも計画されています。続きまして、邦楽演奏会、琴とか尺八、そういったものになります。一覧表とかのほうがよろしいでしょうか。

○石原委員　財団さんへの運営費補助金ですけれども、これで設立されて２年ほど経過したんですかね。これまで補助金、年間５，０００万円余り、今年度だと５，０８３万２，０００円が予算計上されておりました。こちらも先ほど違う分野での補助金交付についても、あらゆる団体への補助金交付なされてます。何かここも曖昧な、金額の妥当性であったり、そのあたりも僕らもよく分からんけれども、取りあえずここで７年度、予算時点ですけれども、約４００万円余り、今年度に比べて増となっておる、そのあたりの要因をお聞かせいただければ。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　７年度の増額の理由ですが、新美術館の開館に伴い、新体制ということで、スタッフの増員を考えられているようです。

○石原委員　この後、美術館の指定管理料はこちらの所管で、スタッフ、そちらへは大勢採用されてのお話でしょうけれども、何か今のお話をお聞きしても、そちらで多額の指定管理料をいただきながら、こちらではまたさらに財団さんへの増額ということで、これだけお聞きすると、金額も金額ですけれども。

それから、財団さんは、今も引き続き４階の１室へおられてですか。７年度はよく分からんですけれども、勝手なイメージで、美術館ができられたら、財団さんごとあちらへ移られるような流れ、動きになるんでしょうか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　先ほど私が申し上げております５，５００万円の運営補助金というのは、新美術館という言葉を使っておりますのでちょっと紛らわしかったかもしれませんが、法人事務局として、今４階にいらっしゃる事務局、そこのスタッフの増員、そこの運営費になっておりますので、また新美術館と別館については指定管理部分ということになりますので、組織図としては分かれている。一つの財団とした中で、組織図として分かれているという考え方になるのではないかと思います。

○石原委員　財団さんのほうでスタッフが増員となれば、それに伴って、こういう形で機動的に備前市では対応がされて、補助金の増額もあるという説明をお聞きして、幾分理解しながら、納得し難い部分も抱きながらの説明をお聞きした。

１７９ページ委託料で、備前市美術館指定管理料１億１，７１１万８，０００円、今年度６月

補正ですか、債務負担で２か年分をちょうど２で割ったらこの金額かなというところで出てきておりますけれ。指定管理は財団さんへお任せするけれども、もうこの時点で、担当部署としては、美術館、どのようなスタッフの配置とか、もう把握をされたり、学芸員が何人とか、幾らか把握されたりしとる状況、お分かりのところがあればお聞かせいただければ。

○川淵生涯学習課長　指定管理料のほうで、財団さんのほうに１億１，０００万円というところで、人員の配置につきましては、今のところ、美術館の総務、経理なんかを担当する、そういった事務職であったりとか、常駐のスタッフでありますとか、そういったところで計９名を予定されていると聞いております。

先ほどの学芸員の配置といったところでございますけれども、今、ちょっと私ども聞いているのが、今、美術館準備室のほうに、学芸員５名ほどおります。そちらのほうは、市の職員でございますので、そちらの市の職員が美術館のほうに常駐するのではないかなと。人事の関係もございますけれども、そちらのほうに常駐するのではないかというふうに考えております。

○石原委員　７月開館ですから、そこへ向けてでしょうけれども、指定管理で１億円、年間この金額でお任せをする上に、それとは別に、今のところ想定で市の職員が５名ほど、市の人件費でもってそちらでお仕事をされるということ。

○川淵生涯学習課長　市の職員、先ほど申し上げました学芸員５名というのが、こちらも人事の関係もございますので、何名配置になるかというのは、ちょっと私どものほうでは、今のところお答えすることはできませんけれども、美術館で展示をする企画展ですとか、そういったところの企画に関することについては、学芸員が担当して行うというふうには考えております。

○山本委員長　暫時休憩いたします。

午後２時１０分　休憩

午後２時２５分　再開

○山本委員長　休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○森本委員　一番下の工事請負費の空調設備等改修工事、予算を認められたら、その後、どういうスケジュールで行くのか教えてください。

○川淵生涯学習課長　このたび令和７年度の当初予算に、市民センターほか日生の市民会館、吉永の地域公民館のホールの空調設備の改修工事を予算計上させていただいております。

御承認いただきましたら、４月入りまして早急に、まずは市民センターの空調の改修に取りかかりたいと考えております。といいますのも、今年度の夏過ぎ頃から、市民センターホールの冷房のほうが故障したということでございますので、今まで、通常どおり動いていた、運転できていた空調のほうを、早急に改修してまいりたいというふうに考えております。

○森本委員　市民センターをして、それが終わってから、あと２つするんですか。それとも、途中から同時期で進めるんですか。

○川淵生涯学習課長　できれば、３館同時に施工したいところではございますけれども、優先順

位的にはまず市民センターをという、そのめどが立ちましたら、順次、着手していきたいというふうに考えております。

○石原委員　課長が言われた３か所の市民センター、市民会館の空調改修、内訳をお聞かせいただけますか。

○川淵生涯学習課長　工事費の内訳につきましては、まず市民センターのホール空調につきまして８，８００万円、日生の市民会館のホールの空調改修に５，０９０万３，０００円、吉永の地域公民館のホールの空調改修で７８４万３，０００円の内訳になっております。

○石原委員　吉永については、ほかの２つに比べればそんなに、改修の程度、改修は最低限ぐらいですね。

○川淵生涯学習課長　今、現状を申し上げますと、まず備前の市民センターにつきましては、冷房装置が停止していると。ただ設置からもう、一度改修はしているんですけれども、設置からもう二十数年たっておりまして、業者さんのほうに見積もっていただきましたら、全改修が必要であると。機械の耐用年数も過ぎているというお話でしたので、この高額な金額になっております。

日生の市民会館につきましても、同様に高額な金額になっております。こちらは冷暖房共に、数年前から停止して全く機能していないというような状況でございますので、こちらも幾分かの機械的に全改修が必要であるというふうには聞いております。

吉永地域公民館のホールにつきましては、現状、備前の市民センターと同様、冷房装置のほうが故障していると。こちら、冷房装置、暖房装置とちょっと系統が２系統ございまして、冷房装置の改修というところで、ちょっと安価に工事費がなっております。

○松本委員　今のに関連して、４月から備前を先にと、どうして同時並行といいますか、ちょっと時期が遅れてもいいけど、例えば日生をいつ、吉永をいつからとか、そういう計画は立てない、それは業者の関係か、それとも内輪の事情か。

○川淵生涯学習課長　担当といたしましても、本来同時並行でできれば一番いいものだとは考えております。ただ、今までの経過経緯ございます。日生については、利用頻度等もございます、ホールの。実際には、同じような工種にはなろうかと思いますけれども、できれば先に市民センターのほうから着手していって、もちろん同時並行していくのが本来ではあるんですけれども、人員ですとか、そういったところもございますので、めどが立てば、順次、改修に入りたいと考えております。

○尾川委員　１７５ページの社会教育費の図書館費、本年度と前年度比較したら、約１１億円ぐらい増えとる。任用職員の報酬が下がっとる、それは構成にもよろうけど。そろそろ任用職員を採用して、司書を採用して、養成する時間が要ると思う。７年度には、ぼちぼち動き取るかなと思うとったら、会計年度職員見たら、５００万円、６５０万円、５１０万円ほど下がっとる、そのあたりのことについて、補正組んで言われるんか、教えてもろたらと思う。

○高橋図書館活動課長　まず、人事担当部局には、来年度の任用委員会で、正職員の採用について、正規で何人採ってくれというような要望をしていくんで、ちゃんと協議をしてくださいと。それから、年度中途からは、作業に当たっていただくような会計年度の司書についても、同時並行で行こうと思っています。４月になるか、いつの時期の正採用ということになるか分かりませんが、切りのいいところでは、４月ということになると思いますんで、正職員については。そのような対応で行かせていただくんで、人件費についても、会計年度さんについては補正予算のほうで要求をさせていただきたいと思っております。

○尾川委員　採用はできそうなん。それほど希望者が、正規は来年度卒業生前提として、その辺はどういう見込みされとんですか。

○高橋図書館活動課長　今よその司書の採用状況を見てます。岡山市さんとか瀬戸内市さんとか、最近、正職員の図書館職員を募集しているんですが、やはり経験枠といいますか、ある程度年齢を広げないと、新卒だけでは、ちょっと人数的に応募が少ないという状況があるようで、年齢枠を広げるか、経験者枠とするのか、そのあたりは柔軟に考えたいと思っております。新卒だけでいくと実務の経験が足りないので、やっぱり実務経験ある方に、即座に対応できるというか、実務経験があるということも同時並行で、クラスを分けて、枠を分けてといいますか、そのような対応をしたいと考えております。

○尾川委員　よそから引き抜くということ、そういうふうに取ったらええ。

○高橋図書館活動課長　受験される方の自由な意思なので、そこは。そういう意図はございません。

○尾川委員　補充ができるんかな思うて、ちょっと心配よね。結構きついと思う、今頃若い子は。司書という資格持っとかにゃおえんと思うて。

○高橋図書館活動課長　日本図書館協会というところがあって、そこに全国の人事情報が掲載できるんです。以前採用したときは、そこを活用してなくって、応募人数が少なかったという現実があるんですが、そういうところに載せると、結構いろんな県から受験してくれる可能性もあるので、ぜひ正職員応募していただきたいと思っております。

○尾川委員　図書費も７４０万円が１，３００万円、１，４００万円弱、これ全部よう使い切らんじゃろうと、これだけ増やすというのはどういう感じで。選書の問題、いろいろ問題あると思うけど、どういうお考えで進めていこうとしとるか。

○高橋図書館活動課長　一遍に、単年で予算を、資料代をどかっとつけても、それは置き場所の問題であるとか困るので、５か年計画を今立てているところです。そこで、計画的な予算をつけていただいて、計画的に蔵書を増やしていくという計画でおります。

○尾川委員　ボランティアをどうするかというのをもっと具体的に。よそなんか図書館、引っ越しするのに手伝わせた、手伝わせ言うんじゃねえ、ボランティアをある程度立ち上げまでにそれだけの体制をつくっていくというのが、既存のがあるわけじゃから、それなりの動きがあると思

うけど、新たな人を求めていくとか、雰囲気変えるのに、そんな工夫も必要かなと思うけど、その点について教えて。

○高橋図書館活動課長　実は、先日、定住自立圏の教育部会で、図書館の担当者で話合いをする機会を設けました。そのときに、それぞれボランティア登録というのをどれぐらいされてますかと聞くと、赤穂市で大体四十数名、上郡町でも大体２０ちょっとの人数が登録をされています。具体的に、どういう作業に当たりたいというのも細かく分けて登録をいただいているというようなことをお伺いして、じゃあ、私どもも、例えば本の返却をやってみたい人とか、カウンター業務をやってみたいとか、いろんな分野での登録をいただいておるんだということをお伺いしたので、ちょっとそれを参考にしながら、取りあえずボランティアやってみたいかなという人のために、説明会をしてみたいなと思っておりますので、ぜひやりたいと思っています。

○山本委員長　ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

１０款教育費、７項保健体育費、１８０ページからもう最後まで。

○尾川委員　昔、備前焼フォーラムがあって、最近はあまり取組がないような、これも賛否両論あって、難しい話する人がおったし、そうかというて、備前市の備前焼に対しての権威づけというか、ある程度のレベルの話せにゃいけんという人もおるし、いろんな意見があるけど、その辺の予算、前は多いときで３０万円、４０万円、少ないときは２５万円、３０万円切るぐらいの予算で、フォーラムを年１回やりよった。そういう企画を、これも、財団との兼ね合いがややこしいというたらややこしいけど、備前焼フォーラムみたいなことをやらんとおえんのじゃねえかと思うけど、それはどうか、お聞きしたい。

○川淵生涯学習課長　申し訳ございません。備前焼フォーラム、ちょっと存じ上げませんでした。ただ、備前焼に関すること、生涯学習課でどういったことができるかと。いろいろ市内、窯跡でありますとか、そういった観点からいきますと、文化財係の所管で、市内の市民の方により分かりやすく、そういった備前焼の歴史ですとか、そういったところの御説明というのは可能ではないかなというふうには考えております。

今、私どもが所管します埋蔵文化財管理センターのほうにも、いろいろな古い陶器の破片ですとか、備前焼の歴史を語る上で貴重な資料というのもございます。そういったところの観点からいきまして、そういったワークショップ形式でもあれば、文化財係の学芸員で対応はできたりするのかなというふうには考えております。

今、埋蔵文化財管理センターのほうで、年に２回ほど、国の補助をいただきながら、中心は、古墳から出土された、そういった出土品に関する、トンボ玉を作ってみたりとか、鏡を作ってみたりというワークショップも、年に２回ほど開催しております。そういった補助金を利用しながら、市民向けに、何かそういったワークショップ的なものができたらいいな考えております。

○尾川委員　今頃、文化財を観光に使うという、備前焼、私は本来文化財のほうじゃと思う。

ええ冊子も出とると思う、研究誌が。伊部の区会あんたら行っとろう、出てくれというて招集かかって。ああいうのを、ぜひ続けていくべきと思うんで検討してください。

ワークショップする言うけど、予算落ちとんじゃねえかな思うて、どっか出とるかな。埋蔵文化センターで、何か作るというやつをやりよったけど。

○川淵生涯学習課長　文化財保護費のほうで、講師謝礼として計上させていただいております。

○山本委員長　１８０ページの１０款教育費、７項保健体育費。

○青山委員　１８１ページの保健体育総務費の１３節委託料、行事企画運営委託料、昨年は６，６２９万５，０００円、これはロサンジェルスツアーだったと思うけど、今年度は１９４万円とかなり減額になっています。この１９４万円の行事はどのようなことを考えられとんか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　こちらの行事企画運営委託料につきましては、これまで継続して行っておりますオリックスツアーを計画しております。

○青山委員　オリックスツアーを今年もやられるということですけど、野球は、山本由伸選手、頓宮裕真選手の活躍で、いろんなメディア等でも上げられたり、備前市の中心だということで、ある意味では盛り上がってるけど、ほかの種目についても、有名選手が出る出ないにかかわらず、何かスポーツを発展させるために企画をされたらいいと思う。そのような企画にこれは使われないですか。丸々オリックスツアーのみか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　こちらの金額につきましては、オリックスツアーで考えております。ほかの種目といいますと、例えばサッカーもあるんですが、ファジアーノがＪ１に昇格したということで、備前市ゆかりのスポーツ選手、島村拓弥選手の所属する柏レイソルも岡山に来て試合をするチャンスがありましたので、そちらのほうで何かできないかなと交渉はしていってはいたんですが、なかなか現実的にはならず、予算計上はできておりません。

○青山委員　そういう目につくプロ選手ということもあるけど、いろんな種目に子供たちは頑張ってると思うんで、そういう試合を見に出かけるというだけでなくて、写真展をやるとか、あるいはリタイアした選手でもいいですけど、お呼びをして夢を語っていただくとか、もうちょっと広く、いろんなスポーツに関わってる子供たちにも有益な企画も考えていただきたいと思う。ここではできないから、また補正を組んでという形でもいいけど。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　子供たちが、様々なスポーツに直接触れるきっかけづくりは必要かなと思っておりますので、何かできることがあれば検討してまいりたいと思います。

○青山委員　野球のことになりますけど、パブリックビューイング、今度と山本由伸選手が先発するということで、現地まで行かなくても観戦することによって、野球少年の夢を育てるとか、応援するという雰囲気を盛り上げることはいいことと思うけど、それに係る費用は計上されとんですか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　今月１８日にパブリックビューイングを行う予定

しております。こちらについては、６年度の予算ですので、６年度の中で対応したいと思っております。次年度以降ですが、継続したパブリックビューイングを、今の段階では計画できていないところですが、何か考えていきたいと思います。

○青山委員　ぜひ、いろんな子供たちに有意義な企画をお願いしたいと思います。

○森本委員　オリックスツアーですけど、昨年度の予算から見たら大分減額になってると思うけど、回数とかは減らされるんですか。回数というかバスというか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　ほかの種目についても、いろんなツアーを計画したいと思っていたこともありますし、今年度、３日間で計画したところですが、２日ということで計画したいと思っております。また、バスについても、５台で計画したんですが、４台ということで計画できたらと思っているところです。

○尾川委員　文化財関係で、閑谷学校絡みで西毅一さんの華甲斎、それから三石の講堂の問題、これ令和６年度の繰越しになっとんか、その辺の取組はどういう方向か、お聞きできたら。

○川淵生涯学習課長　まず、閑谷学校の初代校長西毅一さんの邸宅跡といいますか、書斎跡といいますか、華甲斎につきましては、現在、県の所有物でございます。市のほうにも要望書の提出をいただきまして、ぜひ残していただきたいというようなお話がございました。県のほうともいろいろお話はさせていただいたんですけれども、県としては、老朽化が著しいということで、撤去したいという旨は聞いてはおります。

三石講堂、旧三石小学校の講堂につきましては、今年度、年度途中で補正予算、耐震診断の補正のほうお願いをしておりました。将来的に講堂を文化財として保存していきたいという思いもございまして、通常の耐震診断では、補強工事等々のやり方というのも変わってはきます。いろいろ専門家の先生ともお話をさせていただいて、どういった手法で耐震していくのがいいのかというようなお話もしながら協議を進めていたんですけれども、ちょっと今、それに基づいて、耐震診断に係る設計を行っているところでございますので、ちょっと年度内での事業実施というのが困難ということで、繰越しというふうな予算措置をさせていただいております。

○守井委員　青少年対策費に戻るけど、１８１ページの１９節負担金補助及び交付金、以前、ＦＯＳ少年団に対する補助金がここの予算の中にあって、令和６年度で一応これは体験事業の補助金として変えて、ＦＯＳ少年団自体への補助金はなくなったと理解しておるけれども、それは令和６年度の話であって、令和７年度はどのようなことになっているか、経過を教えて。

○川淵生涯学習課長　委員おっしゃられるとおり、ＦＯＳ少年団への補助金、補助の内容を変えましたので、今年度と同様な取扱いで来年度、補助していきたいというふうに考えております。

○守井委員　その予算はどの予算の項目に、節に含まれる形になるんでしょうか。

○川淵生涯学習課長　先ほど、守井委員から御質問のございましたＦＯＳ少年団の補助金ですけれども、社会教育総務費の中の負担金補助及び交付金の中に、子供学び体験事業補助金がございます。そちらのほうで対応させていただこうと考えております。

○石原委員　保健体育費の中で、今年度、夏に行かれたロサンゼルスへのツアーは、結局１年限りの事業だったと、計上されておりませんので、そういう御判断でよろしいでしょうか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　来年度の予算要求についてですが、市全体の事業を考えておりまして、協定を締結している海外、何か国かありますが、それについては国際交流といった観点で、来年度の計画を行っております。そういったことから、文化スポーツ振興課としては、予算要求はしておりません。

○石原委員　報道等で、来年度以降も継続して応援に行かれるような市長の御発言もございましたので、確認させていただきました。

それから、体育施設費、ここでも毎年老朽化する施設に対応するために、何らかの手当てする予算が上がってきたのかな。７年度を見ると、さほど上げられてないようですけれども、７年度はもう当初の予定では、そういった老朽施設、設備の手当てはなしということで、何かあれば都度対応ということのお考えでよろしいでしょうか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　体育施設関係になりますが、老朽化している施設について、優先順位とかを考えながら、当初といたしましては、修繕料で対応していきたいなと考えております。

○石原委員　１３節委託料、指定管理料９，７５３万５，０００円、これがもう一年、７年度まで公社さんへということで、これも６年度からでしたか、指定管理料が大幅に減額になって、１億２，０００万円以上だったものがこういった金額に減額になっとると思う。先ほど美術館の指定管理料なんか羨ましいような金額が出てきましたんで、管理運営については、この金額で６年度やってきとられるんでしょうけど、問題なしということでよろしいでしょうか。

○杉山文化スポーツ振興課長兼地域移行課長　６年度につきまして減額を行っております。減額の幅も大きかったものですから、施設管理公社の方々については、かなり努力とか工夫をしてくださっていると思います。これで大丈夫かと言われると、大丈夫ですとは言いにくいところではあるんですが、なかなか来年度の予算要求の段階で、また復活とか、そういったことは難しいので、来年度も、今年度同様の金額で計上させていただいております。

どんな工夫をというか、プールについても、営業時間、市民の利用に影響のないところで短縮をしたりとか、そういった工夫をしながら、一緒に相談をしながら行っていただいているところです。

○石原委員　ここでも何か、もやもやというか、複雑な、一貫性というか、バランスとかが崩れてる、崩れつつあるんじゃないかというのを感じたところです。

○尾川委員　１７８ページの青少年対策費、これも１３０万円ほど、本年度予算が前年度に比較して減っとるということで、どんどん子供も青少年育成も、別に問題なしにいきよんならええけど、やはり平生から、こういう面で力入れとかんと、出てきたから遅えというようなことがあるんじゃけど、その辺の取組について、課長はどう思われとんかな。

○川淵生涯学習課長　青少年対策費の１３０万円ほどの減額ですけれども、実はこちらの１３０万円減額が、青少年育成センターの職員といいますか、会計年度任用職員の報酬の減額になろうかと思います。令和６年度、青少年育成センター４名体制で業務を予定しておりましたけれども、やはり募集期間がぎりぎりになってしまいましたので、なかなか人材がいなかったということで、令和６年度、３名体制で全ての事業を行っておりました。令和６年度、１年振り返って、実は３名でも行けたというところもございましたので、令和７年度、１名減の３名体制でということで、会計年度任用職員の報酬を減額させていただいております。

○尾川委員　事が起こらにゃええけど、私はいつも悲観論者じゃから、旭川市の事件見とって、いじめの問題もあるし、いじめで殺人の問題もあるし、そんな大きなことになることはないと思うけど、なったら困ると思う。やっぱり平生からかなり潰していきよらんと、大きなことになると思うんで、もう少し青少年育成、自然に育つもんじゃ、ほっときゃええんじゃという、そういう考え方もあるけど、ある程度指導せにゃいけんところは指導していかにゃいけんと思う。そういう面で、力入れるべきじゃと思う。今相談業務、なかなか相談しにくいというのがあると思う。だから、アルファビゼン、新しい施設のところへそういうコーナーをつくって、青少年育成センターをああいうところに移したりして、相談しやすいと思う。その辺課長の考えを教えて。

○川淵生涯学習課長　委員おっしゃるとおり、やはり今、青少年育成センターのほうが、本庁舎５階に移って、なかなか相談者も来づらい状況ではあろうかと思います。先ほど御提案いただきました学びと遊びの健康プラザの開館に合わせて、施設いろいろ、市民センターのほうも、事務所が空いたり、そういった状況もございます。やはり青少年の問題というのは、なかなか難しい面もございますので、そういったところで、より相談しやすい環境づくりはやっぱり必要であろうかと思います。なかなか人目につかない、いつでも相談に来られる体制はやっぱり必要ではないかなと思いますので、その辺は、今後、検討してまいりたいと考えております。

○尾川委員　課長ぜひ何とか、事が起こらんうちにやってもろたらと思うんで、よろしくお願いします。

○山本委員長　保健体育費、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

１８６、１８７ページの１３款諸支出金の２項基金費の奨学資金貸付基金積立金を審査いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、第３表債務負担行為に入ります。予算書は８ページ、９ページをお開きください。

質疑のある方の発言を許可します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に、全体で質疑漏れはありませんか。

特に総合支所部関係の全範囲の審査は本日が最終となります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議案第２号中、産業建設部、文化スポーツ部、総合支所部関係の審査を終わります。

それでは、これをもちまして予算決算審査委員会を閉会します。

午後３時０８分　閉会